

平成27年度
文化芸術関連事業報告書

目次

- 1P 企画展
- 2P 学校図書館・公共図書館相互賃借事業
- 3P 文化芸術交流事業
- 4P 公共施設美術品展示
- 5P 文化教養向上事業
- 6P 芸術祭
- 7P 地域の魅力発見講座
- 8P 社会教育関係団体活動支援事業(笑顔のつどい)
- 9P 文化祭
- 10P 童謡まつり
- 11P サロンコンサート
- 12P
- 13P コスモス市民講座
- 14P
- 15P こども美術展
- 16P 青少年活動支援事業(わくわくフェスタ)
- 17P 青少年活動推進事業(アート教室)
- 18P アート・バス
- 19P 読書推進事業(おはなし会)
- 20P 小学生読書リーダー育成事業
- 21P 中学生読書リーダー育成事業
- 22P
- 23P 生き生き音楽校
- 24P 小学校親子読書活動促進事業(親子読書会・親子読書のつどい)
- 25P 読書活動促進事業(読書ボランティア養成講座)
- 26P 読み聞かせ促進事業(おはなし会スペシャル)
- 27P 図書館まつり事業
- 28P 視聴覚障害者読書支援事業
- 29P 視聴覚資料利用促進事業(名画会・子ども映画会)
- 30P 青少年活動支援事業(コスモックスまつり)
- 31P 青少年音楽活動支援事業(キッズプラス支援)
- 32P ねんりんスポーツ・文化祭
- 33P 介護・生きがい活動支援センター(ゆい)管理運営事業
- 34P 介護予防支援センター(りん)管理運営事業
- 35P 介護予防・生きがいづくり支援(しゃんしゃん)事業
- 36P 高齢者生きがいづくり支援センター(えんがわくらぶ)運営事業
- 37P 乳幼児親子相談事業(7ヶ月っこ広場・1歳誕生広場)
- 38P 乳幼児親子居場所提供事業(でんでんむし)
- 39P 乳幼児絵本との出会い促進事業(ブックスタート)
- 40P レッツトライ!プロジェクト
- 41P 文化芸術振興計画管理事務
- 42P 自然史・歴史講座
- 43P 市民音楽祭(NPO法人古賀市文化協会)
- 44P 公募型補助金:定期演奏会(市民オーケストラ)
- 45P 公募型補助金:古賀市「第九」演奏会(古賀市「第九」実行委員会)
- 46P 公募型補助金:夏休みこども体験教室(NPO法人古賀市文化協会)
- 47P 公募型補助金:演劇ワークショップ・ミュージカル公演(市民劇団DAICOON)
- 48P 公募型補助金:絵画で古賀市を元気にするプロジェクト事業(アートフレンズ25)
- 49P 公募型補助金:官兵衛KK版「千里眼薦野増時」宣伝事業(薦野の歴史をつなぐ会)
- 50P 公募型補助金:大型紙芝居巡回公演企画(古賀紙芝居サークル「カチカチ会」)

平成27年度文化芸術事業報告書(企画展)

目的	市民が歴史、民俗、博物、考古について学ぶ機会を提供する。			
日時	平成27年7月24日(金)～8月30日(日) 【歴史資料館の休館日を除く】	会場	サンフレアこが ギャラリー	
来場者	下記のとおり	参加者	下記のとおり	
担当課	文化課(H27 サンフレアこが)	担当係	文化振興係(H27 歴史資料館係)	
内容	<p>【展示等】平成27年7月24日(金)～8月30日(日) 『昔話と道具たち』 ※先人が作り出した生活民具等を昔話や伝説などを通して紹介、展示。 【会場:サンフレアこが ギャラリー】 来館者 1,552人</p> <p>【大型紙芝居上演】7月30日(木)・8月7日(金)・8月23日(日) ※古賀紙芝居サークル「カチカチ会」と連携し、古賀に伝わる伝説などの大型紙芝居上演を3回実施。 【会場:サンフレアこが 視聴覚室】 参加者 102人</p> <p>事前周知用チラシ・当日配付パンフレット作成 入場無料</p>			
成果	<p>【展示等】 ・昔の道具(民具・農具など)を展示し、その使い方や、生活の様子を、幅広い世代の方々に学ぶことができた。 ・例年に比べ、親子での来館や、祖父母と孫と一緒に来館されることが多く、子供たちに昔の道具の使い方や生活の様子を懐かしそうに話し伝えられている様子が見受けられ、家族間での歴史の伝承や世代間交流につながった。</p> <p>【大型紙芝居上演】 ・郷土古賀に伝わる伝説などを、大型紙芝居により、子どもから大人まで分かりやすく伝承することができた。 ・大型紙芝居という手法を用いて古賀の歴史の継承活動をされているボランティア団体の存在を、より多くの方に知っていただく機会となった。</p>			
課題	<p>・企画展は例年、夏休み期間中に開催し、子どもたちの自由研究などに活用してもらおうようにしているが、子ども以外の一般の方々にも関心・興味を持ってもらえる内容にする必要があるため、テーマの選定や演出の仕方に工夫が必要。</p>			
H27年度予算額		H27年度決算額		
609,000円		562,038円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
賃金	臨時雇		219,000	賃金209,451円、通勤費8,910円
報償費	報償費	企画展謝礼 スタッフ謝礼	35,000	企画展謝礼5,000円 紙芝居上演謝礼30,000円(2,500円×4人×3回)
需用費	消耗品費 印刷製本費	消耗品費 印刷製本費	284,000	消耗品費128,000円 リーフレット・パンフレット印刷156,000円
役務費	通信運搬費	通信運搬費	13,000	郵便料12,500円
備品購入費	備品購入費	施設備品	58,000	パンフレットスタンド
合計			609,000	
備考	古賀市の個性を起こす — 今ある宝の再認識 — 行政がおこす — 短期			

平成27年度文化芸術事業報告書(学校図書館・公共図書館相互貸借事業)

目的	図書館利用者・市内小中校児童生徒に対し、インターネット横断検索を利用した相互貸借を行うことで、国・県・市の公共図書館の図書資料を有効活用し、必要とされる情報及び資料を提供する。			
日時	随時	会場	古賀市図書館⇔他市図書館	
来場者		参加者		
担当課	文化課	担当係	図書館係	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・リクエストカードに要望を書いてもらい、その希望に沿って他市、他県から相互貸借を行う。 ・学校図書館ネットワーク(e-slip)を活用し、市内小中学校間の利用を円滑に実施する。 年間 1,440冊 ・国・県・市の公共図書館ネットワークを活用し、相互貸借を行う。 年間 2,246冊 			
成果	・市立図書館に所蔵のない資料を他公共図書館等と貸し借りすることで、限られた予算と図書資料の有効活用ができる。			
課題	・情報化社会に対応したインターネットによる相互貸借を活用し利用者の利便性を図る必要がある。			
H27年度予算額			H27年度決算額	
109,000円			106,760円	
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
14	02 OA機器関係使用料	01 学校図書館ネットワーク使用料	80,000	学校図書館ネットワーク(e-slip)
19	01 負担金		29,000	日本図書館協会・県公共図書館協議会等、負担金
合計			109,000	
備考	古賀市の個性を起こす ― 今ある宝を再確認する ― 行政がおこす ― 短期			

平成27年度文化芸術事業報告書(文化芸術交流事務)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町村との交流を図り、情報収集や意見交流を行い、新たな文化芸術の視点を取り入れる。 ・近隣市町村と共同で行うことで広域的なネットワークづくりを行う。 ・古賀市の誇れる文化芸術資源を市内外に積極的に発信する。 			
日時	下記のとおり	会場	リーパスプラザ 大ホール	
来場者		参加者		
担当課	文化課	担当係	文化振興係	
内容	<p>【粕屋地区美術展】 日時 平成27年11月27日(金)～12月2日(水) 10時～17時 会場 レスポアール久山 内容 糟屋郡の1市7町の持ち回りで、毎年開催されている芸術部門の展示会。 平成27年度で43回目をむかえる。毎年古賀市から30点～40点の出品をしている。 市民から広報を通して作品公募し、出品する。</p> <p>【福岡 I ブロック芸文のつどい】 日時 平成27年11月22日 9時～ 会場 宇美町中央公民館 大ホール 内容 糟屋郡の1市7町、福津市、宗像市の持ち回りで、毎年開催されている芸能部門の発表会。 平成27年度で23回目をむかえる。毎年古賀市からは3団体(10人～20人)程度が出演する。</p> <p>・糟屋地区文化協会連合会賞(1人) ・糟屋地区社会教育振興会賞(2人) ・福岡県美術協会賞(1人) ・糟屋地区議会協議会賞(1人) ・奨励賞(5人) 受賞</p>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・今回新しく若い2人が出品し、2人とも奨励賞を受賞したことで、今後の創作意欲の向上につながった。 ・若い出品者に触発され、新たに出品を希望する人が増えた。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・出品者の高齢化が進んでいる。 ・出品者が減少傾向にある。 ・若い出品者の開拓が必要である。 			
H27年度予算額		H27年度決算額		
140,000円		140,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
13委託料	5その他委託料	21文化協会文化事業費委託	140,000	文化芸術振興事業委託事業 140,000円 (糟屋地区美術展及び福岡 I ブロック芸文のつどい)
合計			140,000	
備考	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期			

平成27年度文化芸術事業報告書(公共施設美術品展示)

目的	市庁舎市民ホールに絵画等の展示を行い、潤いのある空間を演出し、文化芸術振興を図る。文化芸術資源の活用をし、魅力を広く伝えられるよう積極的に発信する。			
日時	下記のとおり		会場	古賀市役所 市民ホール
来場者			参加者	
担当課	文化課		担当係	文化振興係
内容	糟屋美術展、MOA子ども美術展、古賀市子ども美術展等、近隣で開催された美術展で受賞した古賀市民の作品を展示。市民や職員が頻繁に行きかう空間に展示することで、古賀市が誇る文化芸術作品の発表の場となると共に、市民がよりクオリティの高い作品を身近に鑑賞できる機会の提供にもなっている。1ヶ月半ごとに作品を入れ替え、合計9回の絵画の交換を行っている。			
	4月	大桑 邦子	第42回糟屋美術展入賞「ふじの頃」	
	5月	古賀 ニコリ	MOA美術展大賞	
	6月	安松 照子	第42回糟屋美術展無鑑査「慶日」	
	7月	浅川 武夫	第42回糟屋美術展入賞「仏門の誓」	
	8月	船越 ヨシ子	第42回糟屋美術展無鑑査「ブナ林」	
	9月	船越 秀美	第42回糟屋美術展無鑑査「杉木立」	
	10月	矢野 初子	第42回糟屋美術展無鑑査「夜座」	
	11月	長崎 敬次	第42回糟屋美術展入賞「メルヘンチック」	
	12月	古賀竟成館高等学校	第30回福岡県高等学校 芸術・文化連盟総合文化祭 美術・工芸展 デザイン部門 特選「お米を食べよう」	
		柴田 美知枝	第42回糟屋美術展入賞「しだれ梅」	
	2月～2月末	原田 洋治	第42回糟屋美術展入賞「土筆」	
	3月～3月末	花見小学校 植原 健太 青柳小学校 大塚 楓 花鶴小学校 本田 愛莉	古賀市こども美術展 市長賞	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度または今年度にすばらしい成績を残された方の作品を1ヶ月ごとに展示することで、来場する人に飽くことなく優秀な作品を鑑賞してもらえた。 ・わざわざ作品を見るために、市役所を訪れる人もいた。 			
課題	・展示場所が、紫外線が入る場所なのでどうにか対策をする必要がある。			
H27年度予算額			H27年度決算額	
88,353円			88,129円	
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
11需用費	1消耗品	1消耗品	88,353	キャプション用プレート費用
合計			88,353	
備考	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 眠った宝を起こす — 行政がおこす — 短期			

平成27年度文化芸術事業報告書(文化教養向上事業)

目的	文化活動をとおり、参加した市民同士の交流の場・コミュニケーションの場作り			
日時	通年	会場	鹿部集会所 高田教育集会所 隣保館	
来場者			参加者	
担当課	隣保館	担当係		
内容	<p>会場の近隣住民を対象として、下記のとおり実施。</p> <p>生花、民舞、パソコンの各種文化教室を実施する。(各教室月2回) 生花教室:1教室 民舞教室:2教室 パソコン教室:1教室</p>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・文化活動を通し、地域住民の交流およびコミュニケーションの場を作ることができた。 ・参加市民の方の地域での文化祭等への作品出展に向けた活動や、日々の生活の中に活動の成果が見出すことができてきた。 ・住民相互の人権についての理解・認識ができる場を作ることができつつある。 			
課題	<p>・教室の一つ一つが、交流の場となっているものの、受講者が、講座等を開催したり、活動を進めていく人材にはなっていない。(比較的年齢が若い方も、活動を進める指導員的な人材にはなっていない。)</p>			
H27年度予算額			H27年度決算額	
52,300円			491,500円	
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8報償費	2講師謝礼	1講師謝礼	480,000	講師謝礼
11需用費	1消耗品費	1消耗品費	40,000	消耗品費
12役務費	1通信運搬費	1通信運搬費	3,000	通信運搬費
合計			523,000	
備考	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 古賀市の個性を起こす — 眠った宝を起こす — 行政がおこす — 長期			

平成27年度文化芸術事業報告書(芸術祭)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・古賀市で行われているグレードの高い舞台芸能、芸術作品の発表・鑑賞の機会を提供し、歴史深い芸能文化や文化芸術への興味関心を深める。 ・伝統的な芸能・芸術の技能、能力、知識を、発信、伝承、還元するための機会の充実を図る。 		
日時	下記のとおり	会場	リーパスプラザ大ホール サンフレアこがギャラリー
来場者	芸能 1,053人 芸術 582人	参加者	芸能 34団体 芸術 63点
担当課	文化課(H27 生涯学習推進課)	担当係	文化振興係(H27 文化・スポーツ支援係)
内容	市内の文化芸術活動団体で、師範・師匠クラスの活動発表の場として、展示3日間、舞台演技発表1日実施。		
	5月18日(日)	芸能 10時～	1476人 クロスパル古賀和太鼓教室、古賀市半面会、清流舞、芳賀史江、日本民謡大久保会、Halau Hula O Hana Aloha、古賀市相撲甚句会、リトミックサークルいちごみるく、啓峰吟詠会、みさカラオケ教室、高風民謡会、玄海一座、Natural ONE、岡八とゆかいな仲間たち、ユカリクラシックバレエ、津軽三味線小山会、日本歌謡連盟、安来節保存会、ハラウ フラ オ マカナアロハ、舞の里おやしバンド 特別ゲスト: 社交ダンス 中山&牛尾ペア 中村&中山ペア
	16日	芸術 10時～17時	88人
	17日		178人
18日	316人		
成果	<p>【芸能部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・係が多かったので、手のあいた人が体の不自由な方のサポートにつけてよかった。 ・プログラムが見やすいと好評だった。 <p>【芸術部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古賀の誇れる企業等の作品を展示した「古賀の宝みつけた」コーナーがアンケートで特に好評だった。 ・展示レイアウトも広々としゆったりしてよかった。 ・裂き織りの実演が大変好評だった。 		
課題	<p>【芸能部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事の関係で入り口等が変わり、道路から入り口、入り口から受付までの不明さを指摘された。 ・駐車場が満杯になり、急遽駐車場係を配置した。 ・観客のマナーの悪さを指摘された。 ・高齢化が進み、後継者問題等課題である。 ・受付の対応の改善。 <p>【芸術部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出展資格の明確化が必要。 ・出展者や出演者の高齢化や、出展数の減少傾向がみられる。 ・工事の関係で、看板設置場所等迷ってしまった。 ・賞や作品の解説がほしいとの指摘があった。 		
H27年度予算額		H27年度決算額	
700,000円		700,000円	
予算根拠			
節	細節	細々節	根拠
13委託料	5その他委託料	1文化協会文化事業費委託	700,000 文化芸術振興事業委託事業(芸術祭) 700,000円
	合計		700,000
備考	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再確認する — 行政が起こす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期		

平成27年度文化芸術事業報告書(地域の魅力発見講座)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での文化芸術活動の活性化をめざし、公民館や新たな活動場所を開拓する。 ・文化芸術活動を行う個人や団体を、行政が行う事業に積極的に活用する。 ・古賀市が誇る文化芸術に関する知識、技能、能力を後世に引き継ぐため、発信、伝承、還元する機会の提供と共に、幅広い世代で地域の文化芸術活動を推進する人材を掘り起こし、育成する。 			
日時	第1回 10月2日(金)、9日(金) 第2回 10月6日(火)、20日(火) 第3回 10月14日(水)、28日(水)	会場	第1回 花見南区公民館 第2回 小山田公民館 第3回 古賀北区公民館	
来場者		参加者	下記のとおり	
担当課	文化課(H27 生涯学習推進課)	担当係	文化振興係 (H27 文化・スポーツ支援係)	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で活躍している方を講師とする。 ・講師の先生が活動している地域の公民館を使うことで、市民に地域の公民館に親しんでもらい、新たな活動場所として開拓する。 ・公民館内だけで講座をするのではなく、地域を歩き回することで、地域の魅力を再発見してもらう。 定員 先着20名 その他 会場までは市のバスで向かう。駐車場が少ないため、歩きまたは自転車のみ現地集合を許可。			
	10月 2日(金) 12人 9日(金) 12人 花見校区	松ぼっくりと羊毛フェルトで クリスマスリースづくり 講師:田邊 一美氏	第1回 ①バス移動 ②講師あいさつ・紹介 ③作成方法の説明 ④作成 ⑤片付け	第2回 ①バス移動 ②講師あいさつ ③仕上げ ④お披露目 ⑤片付け
	10月 6日(金) 5人 20日(金) 6人 小野校区	竹の伐採から体験! 花器づくり 講師:森部 忠彦氏	①バス移動 ②講師あいさつ・紹介 ③作成方法の説明 ④竹林へ移動・伐採 ⑤作業場へ移動・作成 ⑥片付け	①バス移動 ②講師あいさつ ③仕上げ ④お披露目 ⑤片付け
	10月 14日(金) 7人 28日(水) 6人 古賀西校区	貝殻とビーズでオリジナル アクセサリーづくり 講師:出雲 愛佳氏	①バス移動 ②講師あいさつ・紹介 ③作成方法の説明 ④海岸へ移動・貝殻収集 ⑤作成 ⑥片付け	①バス移動 ②講師あいさつ ③仕上げ ④お披露目 ⑤片付け
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・歩いて地域を回することで、「古賀に住んでいて初めて知った」「普段、何気なく通っている道なのに見方を変えるだけで全然違う風景に見える」等改めて地域の魅力を発見してもらうことが出来た。 ・「帰って復習します」等の言葉から、講座内容を家庭でも出来る簡単なものにしたことで、1回きりで終わるのではなく、次につながっている様子が伺えた。 ・「いい先生に巡り合えた」との声があった。地元で活躍している方を講師とすることで、講師と受講者がつながりやすく、継続的につながりが持てる。 ・受講者自身が高い技能を有する人材であり、また新しい人材の紹介をしてもらえたりと、人材の発掘の輪につながっている。 ・他校区の受講者から「他校区の公民館のことや習い事のことなどなかなか知る機会がない。貴重な体験だった」との意見があった。公民館を活用することで、新たな活用場所を開拓すると共に、地元の人しか知らない情報等を広く市民に伝えることが出来た。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に全ての講座に出席できる場合のみ受付しますと伝えていたが、突然の欠席者が多かった。 ・ポスターやチラシ等を広く配布し、広報にも掲載し、周知を行っているが、なかなか受講者が集まらない。 			
H27年度予算額		H27年度決算額		
274,000円		268,890円		
予算根拠				
節	細節	細々節	根拠	
14使用料及び賃借料	1会場借上料	1会場借上料	45,000 会場費 1,500円×3回	
			6,000 空調機使用料 400円×3回×5時間	
11需用費	4印刷製本費	1印刷製本費	印刷製本費 43,416円	
合計			94,416	
備考	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 環境づくり — 眠った宝を起こす — 行政がおこす — 長期 — 行政がおこす — 長期			

平成27年度文化芸術事業報告書(社会教育関係団体活動支援事業)

目的	古賀市内で行われている生涯学習活動が、地域やジャンルの垣根を越えた様々な交流の場が生まれることを目指す。			
日時	平成27年5月31日(日)	会場	リーパスプラザ大ホール	
来場者	215人	参加者	60人	
担当課	生涯学習推進課	担当係	社会教育振興係	
内容	笑顔のつどい:古賀市で活動している団体の活動発表及び実践報告 【アトラクション(活動発表)】 「Double D」「コールドルチェ」 【実践報告】 「古賀西校区コミュニティ運営協議会」「谷山区かたりたい」			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・時間的に長すぎず、上手くまとまっていた。 ・予定通り(時間配分)進めていくことが出来てよかった。 ・昨年より、全体の時間の長さを短くしてちょうどよかった。 ・来場者は少なかったものの、アンケート結果からよかったとの意見が多く、この結果が次に繋がっていくのではないかと。 ・オープニング・エンディングは古賀のよさを再発見の価値があるかと思うので継続する。 ・オープニング映像は説明くさくなくてよかった。好感の持てる内容だった。 ・校区割りに配慮がいき届いた発表・報告だった。 ・アトラクションのよさが伝わりやすかった。 ・鑑賞者、応援者それぞれの期待感があり、参加者増につながった ・ダブルディーの若さと元気(動)、コールドルチェの落ち着いた雰囲気(静)でよかった。 ・コールドルチェのあたたかい慈しみあふれる歌声がとても素晴らしく、生涯学習のお手本のような発表だった。 ・会場全体で歌ったことがよかった。 ・リハーサルを2回したことで、実践報告者から「だんだんと練習を重ねて上手に発表できてよかった」と言われた。 ・実践報告の団体を歴史のある地区、新しくできた地区にしたことで、団体の交流が生まれた。 ・古賀西校区コミュニティの発表は、コミュニティ作りの一例として素晴らしい発表だった。 ・「コミュニティ」とは何だろうと思う人にとって、学ばいい機会になった。 ・「谷山区かたりたい」は地域のためにという志の高さに感銘を受けた。 ・黒田先生の助言・まとめが素晴らしく、緊急の対応が見事だった。 ・黒田先生のまとめで、発表の意義づけが明確にできて、参加者がよく趣旨を理解できたと思う。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・機器の調整、確認に課題が残った。 ・参加者が少ない。 ・途中離席がないよう、活動発表、実践報告団体に意義をわかってもらうように、話し合いリハーサルを確実にする。 ・参加者を増やすために、参加団体を幼児まで広げるときは、マナー指導も行う。 ・活動発表は実践報告に続くような具体的な姿を提示する。 ・福祉関係団体の出演がなかったのが残念。 ・大ホールだけの活動ではなく、ロビーで何らかのイベントや展示もあったほうがよい。 ・開催時期に、アンケートの意見を反映させる。 			
H27年度予算額		H27年度決算額		
80,000円		78,851円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8報償費	1報償費	1	14,000	
		32	10,000	
		41	5,000	
11需用費	1消耗品費	1	24,000	
12役務費	7手数料	31	27,000	
備考	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再確認する — 行政が起こす — 短期 誇りをおこす — 行政がおこす — 長期			

平成27年度文化芸術事業報告書(文化祭)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・古賀市で文化芸術活動をおこなう個人や団体を積極的に活用し、古賀に根付く多彩な文化芸術の魅力を発表・鑑賞・体験する機会を提供する。 ・発表する機会を提供し、日々の活動を促すことで、文化芸術の根付きを促進する。 					
日時	下記のとおり		会場	リーパスプラザ 芸術:大会議室 芸能:大ホール		
来場者	芸能 3,564人 芸術 626人	参加者	芸能 47団体 芸術 156点			
担当課	文化課 (H27生涯学習推進課)		担当係	文化振興係(H27 文化・スポーツ支援係)		
内容	古賀市で活動する文化芸術活動団体の発表会として、展示を3日間、舞台演技披露を3日間実施。					
	分野	日時	来場者	出演者		
	芸能 10時 ～ 17時	21日(土)	902人	古賀キッズプラス、よさこい古賀連、クロスパル古賀和太鼓教室、古賀市民劇団DAICOON、福岡県公立古賀竟成館高等学校、古賀市市立古賀中学校、筵内女性学級、啓峰吟詠会古賀第二支部、松富士会、みさカラオケ教室、吉住歌謡教室、箏曲糸の会、サンフレッシュダンス、三千久賀会、舞オカリナ教室、魔の里エトワールバレエ		
		22日(日)	1035人	サンフレッシュダンス、啓峰吟詠会古賀支部、絃楽・たのしみ三味線、よさこい古賀連舞、絃楽・津軽三味線、茂寿の会、みさカラオケ教室、吉住歌謡教室、日本歌謡連盟、ハラウフラ オ マカナアロハ、女声コーラスコールウイング、神伝真正早淵流剣詩舞道、安来節保存会、アンサンブルポピー、日本民謡大久保会、ボランティアグループ玄海一座		
		23日(月)	1627人	にこにこジャズダンス、クロスパル古賀和太鼓教室、リング∞ディングファミリー、茂寿の会、古賀市半面会、ねじめの会三味線、ねじめの会民謡、ユカリクラシックバレエ、あすかダンススクール、フレンズソーシャルダンス、吉住歌謡教室、壽駒会、ばらの会、古賀三線島唄会、古賀マンドリンクラブ、岡はちとゆかいな仲間たち		
	芸術 10時 ～ 17時	21日(土)	245人	洋画 1点(洋画の会)、日本画 10点(蒼墨同好会、グループ「藍」日本画・古賀教室)、書 44点(川口書道教室、さざなみ会、一五会、愉の筆)、陶芸 53点(古賀市陶芸同好会《水曜会》、《木曜会》、古賀陶友会)、写真 7点(写団こが)、工芸 13点(ふしぎな花俱樂部押し花サロン華、押し花幸葉、文芸 7点(しきなみ短歌会)、茶道 1席(翠芳会)、華道 16点(池坊の会、小原流瑞穂の会)、園芸 4点(古賀市花卉盆栽同好会)		
		22日(日)	198人			
23日(月)		183人				
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な演目を披露することで、幅広い層に親しまれ、「私も何かやりたくなりました」との意見もあった。 ・観客マナーが良くなっている。 					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭の出演者が提出する申込書記載の使用時間が適切でないものが見受けられた。 ・受付場所が段差の下にあり、ご高齢の方が危なかったり、目に入りにくいのか、アンケート収集が難しかった。 					
H27年度予算額			H27年度決算額			
800,000円			800,000円			
予算根拠						
節	細節	細々節	予算額	根拠		
13委託料	5その他委託料	1文化協会文化事業費委託	800,000	文化芸術振興事業委託事業(文化祭) 800,000円		
合計			800,000			
備考	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期					

平成27年度文化芸術事業報告書(童謡まつり)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・出演する市民を公募することで、受け継がれてきた童謡の魅力を広い世代に伝える。 ・子どもたちにも童謡を発表・鑑賞する機会を提供し、日本に根付く童謡を次世代へ引き継ぐ。 			
日時	平成28年2月28日(日)	会場	リーパスプラザ 大ホール	
来場者	5,353人(出演者含む)	参加者	1,203人(出演者)	
担当課	文化課(H27生涯学習推進課)	担当係	文化振興係(H27 文化・スポーツ支援係)	
合唱出演団体	<p>公募により、エントリーした各団体が童謡の演奏・歌を披露するほか、みんなで歌おうコーナー、独唱コンクール(平成27年度は3歳～小学校5年生がエントリー)、豚汁の販売等を実施。 なお、当日のステージのバックボードは古賀竟成館高等学校の美術部が作成。 独唱コンクールにおいては、こども美術展と合同で表彰式を実施。</p>			
	古賀西小学校音楽クラブ、りんコール、舞オカリナ教室、ハーモニーゆい、花鶴丘幼稚園、天照幼稚園、七色のおんぷMusicRoom♪、女声コーラスコールウイング、久保保育園、大正琴アンサンブルポピー、芳賀史江、リトミックサークルいちごみるく、花見南童謡クラブ、暁の星幼稚園、古賀市コッコの会、Chorまつぼっくり、ユカリクラシックバレエ、エコーすみれ、花見光保育園、古賀マンドリンクラブ、コール・コスモス、ゆいハンドベルサークル、桜草、花鶴どろんこ保育園、NaturalONE、古賀新宮子ども劇場、女声コーラス・アマービレ&セピア、やまびこ幼稚園			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・出演総数1,203人で幼稚園から高齢者まで幅広い世代の交流が出来た。 ・昨年の反省から、交通安全協会に駐車場係を依頼したことで、トラブルなく終わることが出来た。 ・幼少期から大型ステージの上で大勢の前で歌を披露する貴重な機会として好評であったことと、来場者からも子どもたちの一生懸命な姿を鑑賞して元気をもらえたとの声があった。 ・竟成館の美術部のバックボードは、非常に好評だった。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・出演者との調整で不備があった ・マンネリ化を防ぐために、新しい企画を検討する。 			
H27年度予算額		H27年度決算額		
1,330,000円		1,330,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
13委託料	5その他委託料	21文化協会文化事業費委託	1,330,000	文化芸術振興事業委託事業(童謡まつり) 1,330,000円
合計			1,330,000	
備考	古賀市の個性を起こす 誇りをおこす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 — 行政がおこす — 短期			

平成27年度文化芸術事業報告書(サロンコンサート)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 古賀市の文化芸術環境について市民が語り合える場を設け、市民の文化芸術環境の向上を図る。 文化芸術に関する情報を収集・提供し、意見交換や交流が出来る場を作り、ネットワーク形成を支援する。 生の演奏を気軽に、定期的に、身近で発表・鑑賞ことができる機会を提供し、潤いある文化都市を目指す。 			
日時	下記詳細	会場	リーパスプラザ	
来場者	924人	参加者		
担当課	文化課(H27生涯学習推進課)	担当係	文化振興係(H27 文化・スポーツ支援係)	
内容	カフェで聞くように、気軽にリラックスしながら聴け、参加者同士が気軽に交流できるサロンコンサート。 文化協会会員及び公募により出演者を決定する。			
	5月23日(土)	一足はやく、気分はハワイ!	70人	Hana ALOHA 岡はちとゆかいななかまたち
	6月20日(土)	梅雨空を吹き飛ばそう!	103人	古賀マンドリンクラブ 古賀三線島唄会
	7月4日(土)	水辺恋しや...	80人	アンサンブルポピー ミュージカルオペラki
	8月29日(土)	暑さもまた良きかな	128人	舞の里おやじバンド マカナアロハ
	9月19日(土)	秋風を感じて	103人	日本民謡大久保会 舞オカリナ教室
	10月17日(土)	コスモスに囲まれて	132人	女声コーラスコールウイング 古賀市民劇団DAICOON
	12月19日(土)	聖この夜	115人	S&I ゆいハンドベルサークル
	1月16日(土)	新たな年を迎えて	115人	女声コーラスアマービレ 系の会
	2月20日(土)	梅の香りに誘われて	78人	吉住歌謡教室 ザ・老人フォー
3月19日(土)	春の息吹を感じよう!	30人	香雲堂吟詠桜峰会 Natural ONE	
成果	<ul style="list-style-type: none"> アンケートより、「身近に感じて親しみが湧き、すばらしかった」「演奏者の熱意が伝わり、よく理解できた」等、小規模の生のコンサートならではの評価が伺えた。 来場者の半分以上が外周促進事業の効果を大きく感じた。 アンケートでの満足度は総合して96%と高い評価である。 来場者も参加できるみんなで歌う時間を設けており、大変好評である。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> 会場設営が毎回とても手間がかかる上に重労働である。来年度からは交流館に移行するので期待したい。 来場者の年齢層が高い。 来場者の男女比は女性が87%であるので、男性の来場者も増やしていきたい。 			
H27年度予算額		H27年度決算額		
250,000円		250,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
13委託料	5その他委託料	1文化協会文化事業費委託	250,000	文化芸術振興事業委託事業 (サロンコンサート) 250,000円
合計			250,000	
備考	古賀市の個性を起こす 誇りをおこす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 — 行政がおこす — 短期			

平成27年度文化芸術事業報告書(コスモス市民講座)

目的	・社会の成熟化に伴い、幅広い年齢の人々に学ぶことへの意欲が高まってきていることから、市民が、生涯のいつでも、自由に学習機会を選択して学習することができ、その成果が適切に評価されるような生涯学習社会を目指す。 ・市民が主体となって相互に学びあい、教えあい、高めあうことにより、心豊かに学び続ける人が育つまちづくり、仲間作りに貢献する。		
日時	5月19日(木)～12月25日(木)	会場	リーパスプラザ 大会議室、研修棟 他
来場者		参加者	735人
担当課	生涯学習推進課	担当係	公民館係
内容	◎講演会		
	①日 時	5月19日(火) 10時～12時	受講生 一般参加 67人
	内 容	開講式&各講座説明「ロケ現場の裏側～古賀のロケ地～」	
	講 師	福岡フィルムコミッション	
	②日 時	7月16日(木) 10時～12時	受講生 一般参加 54人
	内 容	「歌って・踊れる認知症予防」	
	講 師	福岡聖恵病院 認知症ケア専門士 種山 諭子	
	③日 時	9月18日(金)10時～12時	受講生 一般参加 62人
	内 容	後期講座説明「古賀及び近隣の仏像、観音像」	
	講 師	九州歴史資料館 学芸員 井形 進	
④日 時	12月17日(木) 10時～12時	受講生 一般参加 105人	
内 容	閉講式・各講座報告「ジャズの楽しみ方 ～12月に聴くジャズ～」		
講 師	JAZZ VOCAL MUSA Miyuki (ムーサ・ミュキ)		
◎体験講座 学び舎コース 通年 5月～12月 全6回			
①講座名 「古賀の歴史を読み解く」			
	1回目 6/25	古文書から見える江戸時代 古賀の農村事情「講師 古賀郷土研究会 植田謙一」	受講生 24人
	2回目 7/23	記録から見た薦野史「講師 古賀郷土研究会 飯島勇一郎」	
	3回目 9/24	古地図・古写真に見る古賀の変遷「講師 古賀郷土研究会 植田謙一」	
	4回目10/22	郷土の江戸時代の観光旅事情「講師 古賀郷土研究会 有吉敏高」	
	5回目11/26	古墳、埋蔵物に見る古賀史「講師 文化財係 森下靖士」	
	6回目12/10	装飾古墳と船原古墳の謎、王塚装飾古墳、九州歴史資料館 見学	
②講座名 「みんなで歌おう」			
	1回目 6/9	夏は来ぬ・知床旅情・青春時代 他「講師 (株)アルカディア 井上祐子」	受講生 43人
	2回目 7/14	浜辺の歌・夏の思い出 他「講師 (株)アルカディア 井上祐子」	
	3回目 8/11	海・あの青い空のように 「講師 (株)アルカディア 井上祐子」	
	4回目 9/8	紅葉・赤とんぼ・リンゴの唄 「講師 (株)アルカディア 井上祐子」	
	5回目10/13	荒城の月・里の秋・四季の歌 他「講師 (株)アルカディア 井上祐子」	
	6回目11/10	フルーツとピアノ演奏・鑑賞と歌「講師 金子佐知子」	
②講座名 「おやじを磨く」			
	1回目 6/17	男の料理(そば打ち) 「講師 玄海そば塾」	受講生 15人
	2回目 7/15	障子、襖の貼り替え 「講師 西田貞次」	
	3回目 8/19	男の料理(自分のための料理) 「講師 中村敏子」	
	4回目 9/16	スポーツ吹き矢 「講師 日本スポーツ吹き矢協会 藤田 寛」	
	5回目10/21	男の料理(野外料理)「講師 コスモススタッフ」	
	6回目11/18	おやじの社会科見学(唐津街道姪浜宿)「講師 唐津街道姪浜まちづくり協議会」	
②講座名 「日本のおもてなし文化」			
	1回目 6/3	美しい動き、基本姿勢 他 「講師 西村多美子」	受講生 16人
	2回目 7/1	年中行事の理論と形 冠婚葬祭マナー 「講師 西村多美子」	
	3回目 8/5	包む文化ふろしきを包む・折形 「講師 西村多美子」	
	4回目 9/2	食事のマナー(和食)・日本茶の頂き方 「講師 西村多美子」	
	5回目10/7	神社参拝の作法・花束の渡し方 「講師 西村多美子」	
	6回目11/4	食事のマナー(洋食) デザートの食べ方 「講師 西村多美子」	

◎体験講座	はじめてのチャレンジコース 前期期間 5月～8月	
⑤講座名	「スタンドグラス」	
日時	5月28日(金) 6月26日(金) 各10時～12時 2回	受講生 25人
内容	オリジナルのミニランプシェード作成	
講師	スタンドギャラリーツツイ 筒井 政直	
⑥講座名	「韓国料理と食文化」	
日時	6月12日(金) 10時～12時	受講生 23人
内容	本格的な韓国料理を作り、韓国の食文化についても学ぶ	
講師	人材バンク 金 恵貞	
⑦講座名	「はじめての水彩画」	
日時	6月18日(木) 10時～12時	受講生 15人
内容	絵具、筆、紙など水彩道具の基礎知識、三原色の実習と花の塗り絵	
講師	アトリエ自由ヶ丘 水彩画家 立川 眞澄	
⑧講座名	「イメージアップ 話し方講座」	
日時	7月10日(金) 13時～15時	受講生 21人
内容	魅力あるスピーチのコツを学ぶ	
講師	司会者 船越 悠佳	
⑨講座名	「楽しいパルーンアート」	
日時	7月10日(金) 10時～12時	受講生 10人
内容	風船で犬、ウサギ、お花を作る	
講師	夢パルーンの会 代表 太田 紀美子	
⑩講座名	「古賀の特産物で作る料理」	
日時	7月27日(月) 10時～12時	受講生 12人
内容	古賀の特産物「おかひじき」「おかわかめ」等を使った料理を学び、特産物の啓発を行う	
講師	農村加工所 まんま実～や 船越 美治代	
⑩講座名	「今から始める英会話」	
日時	8月20日(木) 10時～12時	受講生 21人
内容	海外旅行に役立つ初級の英会話術を学ぶ	
講師	J-SHINE所属 橋 由香	
◎体験講座	はじめてのチャレンジコース 後期期間 9月～12月	
①講座名	「ミニ盆栽を楽しむ」	
日時	10月28日(水) 10時～12時	受講生 20人
内容	ミニ盆栽の植え方と手順、完成後の管理方法を学ぶ	
講師	古賀市緑のまちづくりの会 青崎安孝さん	
②講座名	「自分でできるリンパマッサージ」	
日時	10月30日(金) 10時～12時	受講生 37人
内容	自分の顔を手足を自分でリンパマッサージができるように初級コースを学ぶ	
講師	リンパトリートメント アソシエイツ ボラボラリンパの会 伊規須 佳奈枝	
③講座名	「キャンドルづくり」	
日時	11月25日(水) 10時～12時	受講生 5人
内容	ろうを使ってオリジナルのキャンドルをつくる	
講師	Felice 白石 志津子	
④講座名	「ハーブでハンドクリーム作り」	
日時	10月14日(水) 10時～12時	受講生 16人
内容	アロマオイルを使用したハンドクリーム作りとブレンドハーブティの効能と飲み方等、ハーブの香りの効能を身体の中から体験し学ぶ	
講師	ハーブのゆりかご 奈木野 亜紀	
⑤講座名	「プロに学グラノーラ」	
日時	10月8日(木) 10時～12時	受講生 17人
内容	プロに自家製のグラノーラの作り方を学ぶ	
講師	Sweets Land 0503 パティシエール安松裕子	
⑥講座名	「スポーツ吹き矢」	
日時	11月19日(木) 10時～12時	受講生 20人
内容	複式呼吸を使っての吹き矢を学びます	
講師	日本スポーツ吹き矢協会 福岡県スポーツ吹き矢協会 会長 藤田 寛	

内容	⑦講座名 日時 内容 講師	「しめ縄づくり」 12月3日(木) 10時～12時 自分で作るオリジナルのしめ縄づくり リンパトリートメントアソシエイツボラボラリンパの会 伊規須 香奈枝	受講生 20人	
	⑧講座名 日時 内容 講師	「ノルディック・ウォークを楽しもう」 11月12日(木) 10時～12時 2本のポールを使ったウォーキング、ノルディック・ウォークを学ぶ 全日本ノルディック・ウォーク連盟 公認指導者 山下 泰昌	受講生 14人	
	⑨講座名 日時 内容 講師	「古賀の特産物で作る料理」 11月9日(月) 10時～12時 古賀の特産物スイートコーンや柑橘系を使った料理を学び、特産物の啓発を行う 農村加工所 まんま実一や 船越 美治代	受講生 24人	
	⑩講座名 日時 内容 講師	「古賀の郷土料理」 12月8日(火) 10時～12時 古賀のおせち料理やぶり雑煮を学び、郷土料理の伝承を促す 農村加工所 まんま実一や 船越 美治代	受講生 21人	
	◎体験講座 ①講座名 日時 内容 講師	市民持ち込み企画コース 後期期間 9月～12月 「紙芝居を読んでみよう」 1回目10月1日(木) 2回目11月5日(木) 全2回 10時～12時 紙芝居の歴史、読み方の実技、発生練習等を学ぶ 古賀市紙芝居サークル「カチカチ会」代表 相戸 孝敏	受講生 2人	
	②講座名 日時 内容 講師	「『facebook』入門」 1回目10月10日(土) 2回目10月24日(土) 3回目11月7日(土) 全3回 10時～12時 Face book 入門から、自分の活動のPRの方法を学ぶ 古賀すたいる 編集長 戸田 祐子	受講生 7人	
	③講座名 日時 内容 講師	「演歌大好き」 10月20日(火) 10時～12時 演歌を聴くだけでなく、自分で歌い、演歌の楽しさを体験し、脳の活性化を促す みなみ会 みなみ三郎	受講生 19人	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・「はじめてのチャレンジ」で新しい講座内容が増え、比較的若い世代の受講生が増えた。また、回数的に入りやすい回数だったのか新しい受講生が増えた。初めての方からは、今後も同じ内容で続けてほしいとのコメントが多くあった。 ・「市民持ち込み企画」は、団体、サークル目線の今までにない内容が持ち込まれた。 ・「学び舎コース」は、通年通しての6回開催で受講生に満足いく内容を提供できた。 ・20歳～30歳代 26人の参加があった。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「学び舎コース」での受講生自身による講座内容の企画は、受講生に浸透しづらく毎回話合う場面を作れなかった。 ・スタッフの研修もなく進めたので、受講生を導ききれなかった感があった。 ・「市民持ち込み企画」のPR内容に持ち込み団体とのズレが生じ、受講生が求めていた内容と実際に団体が講義をされた内容が違っていたため受講生から不満の声が上がった。対策として、企画書の内容の確認と打合せを確実にし、募集記事の内容を提出してもらう。 ・未就学児母親の受講生増加はうれしい反面、託児従事者を確保することが大変。 			
H27年度予算額		H27年度決算額		
330,000円		320,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8報償費	2 講師謝礼	1 講師謝礼	330,000	地域教育力向上事業(コスモス市民講座事業)
合計			330,000	
備考	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期 環境づくり — 行政がおこす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす			

平成27年度文化芸術事業報告書(こども美術展)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と連携を図り、子どもたちが文化芸術にふれる機会と、子どもたちの作品にふれる機会を提供する。 ・子どもの文化芸術に対する感性を育み、子どもの視点を取り入れた文化芸術振興を図る。 			
日時	平成28年2月24日(水)～28日(日)	会場	展示: サンプレアこが 2階ギャラリー 表彰: リーパスプラザ 大ホール	
来場者	1,358人	参加者		
担当課	文化課(H27 生涯学習推進課)	担当係	文化振興係(H27 文化・スポーツ支援係)	
内容	市内小中学校の子どもたちの絵画と書を募集し、審査した後、5日間展示及び最終日には表彰をする。			
	絵画	小学校=296点 中学校=44点	審査員 原 小夜 氏(福岡県美術協会会員) 藤川 麻利 氏(古賀竟成館高等学校教諭)	
	書	小学校=134点 中学校=15点	審査員 芝 武治 氏(福岡県美術協会会員) 二宮 欣山 氏(福岡県美術協会会員)	
	こども大賞	投票数: 289人	展示中に投票を行ったため、後日表彰	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・作品全体のレベルアップが感じられた。 ・文化芸術審議会でご意見をいただいた、こども大賞を実施したところ、こどもの鑑賞者増につながった。 ・去年の反省から、作品をこどもの目線の高さに合わせたところ、見やすくなった。 ・書の作品にはしわが目立った為、今年度は4賞のみ裏張りを実施したところ、非常にきれいに展示できた。 ・今年度から展示期間を3日間から5日間に延ばしたことにより、より多くの方に鑑賞してもらうことが出来た。 ・館内放送で事業案内をしたところ、来場者増につながった。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の関係で、看板設置スペースがなく、案内が不足した。 ・審査員が選ぶ努力賞の数が多く、努力賞の定数を決める必要がある。 ・表彰式で、返事がなかったり、声が小さいことがあったので、事前指導が必要である。 			
H27年度予算額			H27年度決算額	
270,000円			270,000円	
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
13委託料	5その他委託料	1文化協会文化事業費委託	270,000	文化芸術振興事業委託事業(こども美術展) 270,000円
合計			270,000	
備考	古賀市の個性を起こす — 眠った宝を起こす — 行政がおこす — 短期			

平成27年度文化芸術事業報告書(青少年活動支援事業)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年の健全育成のため、古賀市内で活動している青少年育成団体・古賀市外で古賀市内の子どもたちが活動している青少年育成団体が集い、子どもたちのイベントを実施することにより、子どもたちに体験の場を設ける。 ・企画・運営をとおして、育成団体相互の連携を深め、今後の活動に活かしていく。 			
日時	平成27年11月29日(日) 10:00~15:00	会場	リーパスプラザ、研修棟、市民体育館	
来場者	2,500人	参加者	ステージ発表15団体、 体験16団体、模擬店5団体	
担当課	青少年育成課	担当係	青少年育成係	
内容	<p>【わくわくフェスタ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーパスプラザ大ホールにて、オープニングイベント(開会行事及びアトラクション〈玄海古賀太鼓〉)を開催し、引き続き子どもたちによるダンス、演奏等、日頃の成果を披露するステージ発表。 ・リーパスプラザ大ホールでのイベントは古賀東中学校生徒会による司会にて進行する。 ・研修棟・市民体育館では、マジック・工作・車椅子体験・演劇体験などの体験・もの作りを実施。 ・模擬店にて、うどん・カレー等を販売。 ・子どもたちに、わくわくクリーン隊を募集しイベント会場のごみの回収を行う。 			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年の育成に関する団体が集まって、官民協働の事業となっている。 ・年々参加者は増加傾向にある。市外からの来場者も増加傾向にある。 ・ステージ発表のレベルが年々上がってきている。全国大会に出場した団体もある。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・天候等に左右されるため、準備等が難しい。 ・内容が固定化しているとの声がある。 ・ステージ発表の観客が少ないとの声がある。 			
H27年度予算額			H27年度決算額	
285,000円			196,182円	
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8	報償費	運営委員謝礼	120,000	2,000円×12人×5回
11	消耗品費	消耗品費	65,000	事務用品等
11	食糧費	食糧費	9,000	300円×30名(ボランティア用昼食)
11	印刷製本費	印刷製本費	83,000	75,000円×1.1税
12	手数料	営業許可手数料	8,000	2,400円×3店
合計			285,000	
備考	古賀市の個性を起こす ― 眠った宝を起こす ― 行政がおこす ― 短期			

平成27年度文化芸術事業報告書(青少年活動推進事業)

目的	・土曜日の子どもの居場所づくりを主目的に、青少年の体験活動の推進の一環として、主に工作をとおして子どもたちの創造性を育む。			
日時	毎月第3土曜日 (変更等あり)	会場	青少年総合センター	
来場者		参加者	小中学生:177人 大学生:63人	
担当課	青少年育成課	担当係	青少年育成係	
内容	4月18日(土) 顔が伸びる仕掛けの名刺を作り、自己紹介しあう。			
	5月16日(土) マイリトル鯉のぼり			
	6月20日(土) 太陽サンサンてるてる坊主			
	7月18日(土) ファイルDEカレンダー			
	9月12日(土) 落ち葉アート			
	10月17日(土) インスタントおぼけ			
	11月21日(土) キャンドル			
	12月19日(土) スタンプ年賀状			
	1月16日(土) ブンブンこま			
	2月20日(土) 手づくり楽器の音楽会♪♪			
	3月19日(土) ジグザク段ボール迷路			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・九州産業大学の学生が、毎回工夫をこらし2時間という限られた時間の中で効果的な指導をしてくれており、参加者にも好評を得ている。 ・リピーターも多く、登録者は50人を越えている。 ・家で改めて保護者と楽しむことができる。(家庭内のコミュニケーションに活用できる。) 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・近いところの子どもは、気軽に来れるが、遠い場合は、保護者の送迎が必要なため参加者に地域的なばらつきがある。 ・対象が小学生全般なので、高学年にとっては少し物足りなく、また低学年にとっては少し難しいという状況が稀にある。 			
H27年度予算額			H27年度決算額	
110,000円			101,387円	
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8	報償費	体験活動等謝礼	60,000	1,000円×60名
11	消耗品費	消耗品費	50,000	事務用品等(その他事業含む)
合計			110,000	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期			

平成27年度文化芸術事業報告書(アート・バス)

目的	・小中学生を対象に、本物の文化芸術の鑑賞や学芸員等専門家、アーティストとの交流を通し、文化芸術の担い手の育成に寄与する。			
日時	下記のとおり		会場	下記のとおり
来場者	児童:48人 大人:22人		参加者	
担当課	文化課(H27 生涯学習推進課)		担当係	文化振興係(H27 文化・スポーツ支援係)
内容	古賀市内の小中学生(参加希望者)をバスに乗せて、近隣の美術館に連れて行く。 平成27年度は親子を対象として実施。			
	6月27日(土)	全小学校	福岡市美術館 「常設展」 「夏休み子ども美術展」	児童 17人、保護者 16人 学生ボランティア 8人 コーディネーター1人、市職員 4人 青少年育成課と合同事業
	8月17日(月)	花見小学校 千鳥小学校 舞の里小学校	福岡アジア美術館 「絵本ミュージアム2015」	参加者が確保できず中止
	11月7日(土)	全中学校 (児童のみ)	福岡県立美術館 「紙、やどる形」	生徒 31人、学生ボランティア 8人 コーディネーター1人、市職員 2人
	12月19日(土)	古賀東小学校 古賀西小学校 花鶴小学校	福岡県立美術館 「開館30周年記念 没後40 年高島野十郎展」	参加者が確保できず中止
	1月31日(日)	青柳小学校 小野小学校	福岡市美術館 「常設展」	参加者が確保できず中止
	2月21日(日)	大人 (一般市民)	福岡市美術館 「常設展」	参加者 22人、コーディネーター1人 市職員2人 ※美術館鑑賞後、食事会を実施
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・参加人数は多くないが、参加した子どもたちの満足度は高く、非常に楽しそうに参加していた。 ・親子での実施の際、普段見られない子どもたちの一面が見れたと、保護者からは非常に好評だった。 ・大人を対象に実施したが、美術館に足を運んだことがない参加者もあり、今後美術館に行くきっかけづくりが出来た。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年、参加人数の停滞が見られたため、親へのアプローチも必要ではないかと、小学生のみ対象を親子に限定して実施したが、親の仕事の都合や未就学児の兄弟の面倒を見なければいけない等の理由から参加者が集まらず、中止が相次いだ。 ・現在、九州産業大学の学生にボランティアを依頼しているが、参加人数が減少しつつあるので、他学校へのボランティア募集も検討する。 ・大人を対象に実施した際、引き止めても別行動したり、事前通知していたにも関わらず、別の企画展を鑑賞すると勘違いしていたり、居残って別の企画展を鑑賞したいとの意見が出たりと、自由行動が多く大変困った。今後は、受付をする際に、重々注意点を申した上で、受け付けるようにする。 			
H27年度予算額			H27年度決算額	
160,900円			25,340円	
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8報償費	1報償費	21スタッフ謝礼	50,000	スタッフ謝礼 1,000円×5回×10人
8報償費	1報償費	32コーディネーター謝礼	12,500	コーディネーター謝礼 2,500×5回
14使用料 及び 賃借料	1使用料	21美術館等入場料	78,000	美術館入館料 1,200円×5回×13人
	5駐車場 有料道路使用料	1駐車場・ 有料道路使用料	12,400	有料道路使用料 620円×10回×2台
	5駐車場 有料道路使用料	1駐車場・ 有料道路使用料	8,000	駐車場利用料 200円×5回×2台×4時間
合計			160,900	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期			

平成27年度文化芸術事業報告書(読書推進事業)

目的	読書に対する興味・関心を高め、豊かな心を育てる			
日時	通年	会場	学校図書館	
来場者		参加者		
担当課	学校教育課	担当係	指導係	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・図書委員会の運営事務(対象:保護者・児童・生徒・教職員) ・おはなし会事務(企画への参画・講師依頼・実施) ・読書週間事務(企画への参画・広報・実施) 			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・図書の時間に本の調べ方、絵本の読み聞かせ、ブックトークなどを行うことにより、読書指導の充実を図ることができた。 ・地域ボランティア、保護者ボランティアを積極的に活用することが児童の読書の推進につながった。 ・朝の活動で新聞学習、朝読書を取り入れることで知識欲、読書力がついた。 ・年3回～4回の読書週間を毎年行うことにより、読書週間を楽しみにする児童が多くなった。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・読書推進は、学校全体で行うことが大切であるが、教職員全員が足並みをそろえることが難しい。 ・地域のボランティアの活用は、学校予算に限りがあるため、全学年での利用が難しい。 			
H27年度予算額		H27年度決算額		
0		0		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
/	/	/	/	/
合計			0	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期			

平成27年度文化芸術事業報告書(小学生読書リーダー育成事業)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動に関する講座や研修をすることにより、子どもたちの読書リーダーとしての資質を向上させる。 ・自主的に読書活動に取り組むことで、「言葉の力」を伸ばし、豊かな心の育成と学力向上を図る。 ・読書リーダーとして、読書の楽しさや大切さを積極的に伝えていく活動を行うことにより読書の輪を広げる。 		
日時		会場	各学校図書館・古賀市役所・市立図書館
来場者		参加者	リーディング・リーダー 28人 小・中学校司書教諭・司書 他
担当課	学校教育課	担当係	指導係
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各中学校区での実践活動 ・市立図書館見学 ・児童文学作家の読書講演会 		
成果	読書リーダーとして、地域でおはなし会を開催したり、読書講演会の運営に関わったりしたことで、読書の楽しさや大切さを積極的に伝えていく活動ができ、読書の輪を広げることができた。		
課題	平成27年度で事業終了。		

H27年度予算額	H27年度決算額
85,000円	67,040円

予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8報償費	1講師謝礼	1講師謝礼	60,000	児童文学作家講演謝礼
9旅費	1費用弁償		7,040	児童文学作家講演 交通費
合計			67,040	

備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期
----	--

平成27年度文化芸術事業報告書(中学生読書リーダー育成事業)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動に関する講座や研修をすることにより、子どもたちの読書リーダーとしての資質を向上させる。 ・自主的に読書活動に取り組むことで、「言葉の力」を伸ばし、豊かな心の育成と学力向上を図る。 ・読書リーダーとして、読書の楽しさや大切さを積極的に伝えていく活動を行うことにより読書の輪を広げる。 			
日時		会場	各学校図書館・古賀市役所・市立図書館	
来場者		参加者	リーディング・リーダー 28人 小・中学校司書教諭・司書 他	
担当課	学校教育課	担当係	指導係	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各中学校区での実践活動 ・市立図書館見学 ・児童文学作家の読書講演会 			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・読書リーダーとして、地域でおはなし会を開催したり、読書講演会の運営に関わったりしたことで、読書の楽しさや大切さを積極的に伝えていく活動ができ、読書の輪を広げることができた。 			
課題	平成27年度で事業終了。			
H27年度予算額			H27年度決算額	
85,000円			85,000円	
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8報償費	2講師謝礼	2講師謝礼	60,000	児童文学作家講演謝礼
9旅費	1費用弁償		25,000	児童文学作家講演 交通費
合計			85,000	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期			

平成27年度文化芸術事業報告書(生き生き音楽校事業 地域支援)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽活動を体験し、歌唱を通じて昔の記憶を刺激し回想を行い認知症を予防し、また呼吸法や発音練習により、心肺機能向上・口腔機能向上・認知機能の向上をめざし、介護予防を図る。 ・高齢者の地域の集いの場を提供し、交流活動の活性化を図る。 			
日時	各地域状況に合わせ設定	会場	地域公民館	
来場者		参加者	生き生き音楽校 (65歳以上の高齢者) 延443人 音楽ボランティア養成講座 222人	
担当課	介護支援課	担当係	介護予防係	
内容	<p>【生き生き音楽校】 時間 90分(開催地域の区長と講師との日程を調整し開催日決定) 回数 10月～2月(月2回)3月合同発表会 10回×3か所=30回+発表会1回=31回 内容 音楽療法による、音楽活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皆で懐かしい歌を歌う ・簡単な体操 ・簡単な楽器を使い、合奏を楽しむ、介護予防鍵盤ハーモニカ ・口腔体操 <p>【音楽ボランティア養成講座】 回数 15回(内3回地域実習) 内容 音楽療法の講師により、地域で行う音楽を使った介護予防活動の知識や技術を学び、地域の介護予防を推進する。</p>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度から、鍵盤ハーモニカを使った介護予防活動を導入したり、地域展開の人材育成を行った結果、立ち上げ支援を行っていた地域が2箇所自主活動が始まり自立した。地域活動が活性化した。 ・音楽を通し、生きがいづくりと、仲間づくり、健康づくりが推進出来た。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成を継続して行い、音楽を通した介護予防活動を、各公民館で行えるようにコーディネートとネットワークの構築を行う必要がある。 			
H27年度予算額		H27年決算額		
1,254,500円		1,254,500円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8	講師謝礼	講師謝礼	348,000	音楽ボランティア講師謝礼
11	需用費	消耗品	6,500	音楽校消耗品
13	委託料	介護予防講座委託	900,000	地域展開音楽校委託
合計			1,254,500	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期			

平成27年度文化芸術事業報告書(生き生き音楽校事業 鍵盤ハーモニカ導入)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽活動を体験し、歌唱を通じて昔の記憶を刺激し回想を行い認知症を予防し、また呼吸法や発音練習により、心肺機能・嚥下機能・口腔機能向上をめざし、介護予防を図る。 ・高齢者の地域の集いの場を提供し、交流活動の活性化を図る。 			
日時	各地域状況に合わせ設定	会場	地域公民館 等	
来場者		参加者		
担当課	介護支援課	担当係	介護予防係	
内容	<p>鍵盤ハーモニカ導入地域 10箇所 導入予定6箇所</p> <p>【介護予防鍵盤ハーモニカ導入】 地域創生事業補助金を使い400台鍵盤ハーモニカを購入し、地域の高齢者(65歳以上の高齢者)に鍵盤ハーモニカの音楽校を開催する。鍵盤ハーモニカは、家で介護予防トレーニングできるように貸し出しを行う。</p> <p>【介護予防鍵盤ハーモニカ体験会の開催】 いきいきセンターゆいにて、先行的の鍵盤ハーモニカを始めていたグループ「ファーストペンギン」が、地域に出向き演奏を披露しながら、活動の推進を行う</p> <p>【介護予防 鍵盤ハーモニカ研究会の立ち上げ】 高齢者の鍵盤ハーモニカを使った音楽活動が先行的であるため、指導者が自主的に研究会を立ち上げ研究的に、教材を作成していく。</p>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・鍵盤ハーモニカを介護予防と地域活動の活性化に活用し始めた事例が先行的であることで、メディアに大きく取り上げてもらったことで、介護予防に対する意欲が高まった。 ・音楽を通して様々な可能性が広がった。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で鍵盤ハーモニカを使った介護予防活動が広がるに伴い、指導や支援を行うサポーターのニーズが高まっている。また、サポーター養成を始めて1年目で、16名しかいないため、今後も人材育成に力を入れる必要がある。 			
H27年度予算額		H27年決算額		
2,113,000円		2,070,124円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
11	需用費	消耗品	2,113,000	鍵盤ハーモニカ・音楽教材
合計			2,113,000	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期			

平成27年度文化芸術事業報告書(小学校親子読書活動促進事業)

目的	・市内小学校及び保護者に親子読書会に参加してもらい読書の幅を広げ楽しみながら読書活動による知識を深めてもらう			
日時	親子読書会:各小学校で随時 つどい:平成28年1月28日(土)	会場	親子読書会:各小学校にて実施 つどい:リーバスプラザ大ホール	
来場者		参加者	つどい:250名(子ども150名、大人100名)	
担当課	文化課(H27 サンフレアこが)	担当係	図書館係	
内容	<p>【親子読書会】 各小学校で随時活動 8小学校にあり 会員数 92人 各学校で、読書会を実施したり、講師を招き読書から発展した活動を行う。</p> <p>【つどい】 平成28年1月28日(土)実施 参加者数 250人 各学校の活動の発表を行う。</p>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校での活動では、読書活動を親子で楽しみ、読書習慣を育むことができている。 ・つどいでは、各親子読書会との交流や情報交換ができている。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・共働き世帯の増加により親子読書会の加入世帯の減少が見られる。参加可能な世帯だけでなく、親子読書活動を広げるための方向性を考えていく必要がある。 			
H27年度予算額		H27年度決算額		
80,000円		73,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8	02 講師謝礼		80,000	講師謝礼
合計			80,000	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期 — 長期			

平成27年度文化芸術事業報告書(読書活動促進事業)

目的	読書活動を推進し、読書の楽しみを広げ、作品を深く味わうことを学ぶ			
日時	6月7日 14時～16時	会場	サンフレアこが	
来場者		参加者	36人	
担当課	文化課	担当係	図書館係	
内容	<p>【読書ボランティア養成講座】 「赤ちゃんおはなし会の大切さ」～赤ちゃんに「生きたことば」の喜びを～ 講師：徳永明子(きりん文庫かすが主宰)</p>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・読書ボランティアに関する講座を開き、大人が、赤ちゃん、子どもに「生きたことば」を手渡す大切さを学ぶことができた。 ・赤ちゃんおはなし会の大切さを学ぶことで、市立図書館で開催している「赤ちゃんおはなし会」のボランティアを希望する人が出てきた。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、9月～1月図書館改修工事のため本館が閉館したため、読書講演会や読書講座を実施することが出来なかった。 			
H27年度予算額		H27年度決算額		
73,000円		17,400円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8報償費	02講師謝礼	01講師謝礼	33,000	読書活動促進事業(読書講座・読書講演会事業)託児謝礼
8報償費	01報償費	01託児謝礼	40,000	読書活動促進事業(読書講座・読書講演会事業)講演等
合計			73,000	
備考	古賀市の新しい魅力を興す ― 人にやさしいまちづくり ― 行政 ― 長期			

平成27年度文化芸術事業報告書(読み聞かせ促進事業)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書活動の推進。 ・読書活動に関する興味関心を深める。 ・図書館を身近に感じてもらう。 			
日時	平成27年7月26日(日) 14時～15時	会場	サンフレアこが 2F 視聴覚室	
来場者		参加者	96人	
担当課	文化課(H27 サンフレアこが)	担当係	文化振興係	
内容	<p>【おはなし会スペシャル】 古賀市内6つの地域文庫で活動している皆さんによる、群読や大型絵本の読み聞かせやストーリーテリングや人形劇等を行った。 参加者 子ども 56人 大人 40人</p>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域文庫連絡会のなかで打ち合わせをしたことにより、全体的にバランスがとれた構成となった。 ・夏休み恒例の催しものとして定着しているが、子どもたちが読書に親しむきっかけになるよう、演目と併せて原作も紹介したことで本を借りていく姿が見られた。 ・プログラムの幕間に地域文庫の紹介、パネルの展示も行うことにより文庫活動への関心が深まった。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる地域文庫との連携の強化と、地域文庫への支援を行っていく必要がある。 			
H27年度予算額		H27年度決算額		
30,000円		30,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8報償費	02講師謝礼	01講師謝礼	30,000	読書活動促進事業(読書講座・読書講演会事業)30,000円
合計			30,000	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期			

平成27年度文化芸術事業報告書(図書館まつり事業)

目的	読書の楽しさや本への親しみを体感し、図書館の利用促進と読書意欲の向上を図るため講演会などの行事を開催する。		
日時	7月24日(金)～7月26日(日)	会場	サンフレアこが
来場者		参加者	311人
担当課	文化課(H27 サンフレアこが)	担当係	図書館係

内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックリサイクル(ロビー) 図書館で除籍した本を利用者に差し上げる ・ことちゃんぬりえコンテスト、読書クイズ ぬりえの優秀作品やクイズの正解者には図書カードをプレゼント ギャラリーに掲示 ・お楽しみ袋貸出 職員がテーマ別に選んだおすすめ本を3冊セットにして緒楽しみ袋としてセット貸出 ・布の絵本展示(こがめルーム) ・押し花しおりづくり(7月24日) 講師:安武幸子さん 30名 		
----	--	--	--

成果	平成27年度は、図書館改修工事のため、取組内容を精査、厳選して事業を実施した。期間中の来館者も多く成果があった。		
----	--	--	--

課題	・更なる読書活動の推進のため、広い周知を行う必要がある。		
----	------------------------------	--	--

H27年度予算額		H27年度決算額	
10,000円		10,000円	

予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8	01報償費	01講師謝礼	10,000	読書活動推進事業(図書館利用促進事業・図書館まつり)
合計			10,000	

備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期			
----	--	--	--	--

平成27年度文化芸術事業報告書(視覚障害者読書支援事業)

目的	市内視覚障がい者に対して、朗読ボランティアが録音した資料を活用し、読書の楽しみや情報の提供など実施する。			
日時	不定期	会場	図書館	
来場者		参加者	6件	
担当課	文化課(H27 サンプルアこが)	担当係	図書館係	
内容	<p>・朗読ボランティアが録音したテープや図書館の資料(カセットブック録音図書)を無償郵送システムを使って視覚障がい者へ提供する。</p>			
成果	<p>・6件の依頼を受け視覚障がい者の方へ配送を行った。 ・平成27年度の図書館改修工事により増床したため、大活字本コーナーを整備し、読書拡大器を設置することができた。</p>			
課題	<p>・活件数が徐々に減少しており、広報や周知を行う必要があると思われる。 ・マルチメディアDAISYの活用推進及び周知が必要である。 ※マルチメディアDAISYは、現在広く流通している音声DAISYのさらに進んだもので、音声とその部分のテキストや画像等がシンクロナイズ(同期)して出力されます。パソコンを使って利用します。視覚障害者・肢体障害者・聴覚障害者・学習障害者・寝たきりの人等様々な人が利用できる、アクセシブルなデジタル図書です。</p>			
H27年度予算額		H27年度決算額		
0		0		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
合計			0	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期			

平成27年度文化芸術事業報告書(視聴覚資料利用促進事業)

目的	市民・図書館利用者に対して、図書館が所蔵している視聴覚資料の上映を行うことで、作品を楽しく鑑賞してもらったり映画の楽しみを知ってもらう			
日時	名画会 第2土曜日 子ども映画会 第2日曜日	会場	サンフレアこが 2階 視聴覚室	
来場者		参加者	名画会:268人(4~8月、2月、3月) 子ども映画会:156人(4~8月、2月、3月)	
担当課	文化課(H27 サンフレアこが)	担当係	図書館係	
内容	名画会、子ども映画会共に各7回開催 ※図書館改修工事の為、本館が、9月1日から2月1日まで閉館			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度は図書館改修工事のため9月から平成28年1月までの5ヶ月間、名画会、子ども映画会の実施が出来ず参加者が減少した。しかし、名画会については、介護支援課の外出促進事業に参加したことにより、それをきっかけとして名画会の参加者数が増加しリピーターになってくれる人も増えた。 ・子ども映画会については、図書館の視聴覚資料を上映することで、関連する図書資料の貸出し等が増加し、貸出促進が得られた成果は大きい。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・一定の参加者数を得られているが、子ども映画会の参加者数が減少している。今後の事業について、読書の楽しみや情報を伝えらるよう工夫が必要と思われる。 			
H27年度予算額		H27年度決算額		
0		0		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
合計			0	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期			

平成27年度文化芸術事業報告書(青少年活動支援事業)

目的	・青少年の居場所として音楽スタジオやダンススタジオを備えている千鳥児童センターで、その利用者が自発的にイベントを企画、実施することにより、日頃の練習の成果の発表及び交流の場とする。			
日時	平成27年10月25日 15:00～18:00	会場	古賀市千鳥3丁目3番7号 千鳥児童センター(コスモックス)	
来場者		参加者	168人	
担当課	青少年育成課	担当係	青少年育成係	
内容	利用者(高校生)が実行委員会を組織して、イベントの企画、立案、当日の運営まで行う。 当日は、千鳥児童センター利用者や利用者OB及び関係者(保護者、友人等)が多く来場した。			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・異世代との交流が図れる。 ・イベントの企画～実施までを行うことにより、企画力、調整力、協調性など青少年の能力開発に資することが期待できる。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・広報等で周知しているものの、イベントの内容(音楽、ダンス)から参加者は施設を利用している者(小・中・高校生)やその友人等に限定してしまう傾向にある。 ・利用者が主体となり企画・立案するイベントであるものの、どうしてもセンタースタッフに頼りがちになり、スタッフが主導することとなる。 ・ごみを持ち帰らない等公共施設を利用するうえでのマナーが欠如しており、どのようにしたらマナー向上につながるかが今後の課題である。 			
H27年度予算額			H27年度決算額	
15,000円			14,978円	
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
11	需用費	消耗品費	15,000	
合計			15,000	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期			

平成27年度文化芸術事業報告書(青少年音楽活動支援事業)

目的	平成2年に開催された「とびうめ国体」を契機に誕生した「小野小学校マーチングバンド」を全身に、古賀市内の小学生を対象として音楽に親しめる環境を提供する「古賀キッズプラス」を支援する。			
日時	毎週火・木曜日	会場	小野小学校 せんだんホール	
来場者		参加者	8人	
担当課	青少年育成課	担当係	青少年育成係	
内容	平成27年7月	JA粕屋夏祭り(JA粕屋)		
	平成27年10月	第29回古賀市健康福祉まつり(サンコスモ古賀)		
	平成27年11月	野幸山幸小野まつり(小野小学校)		
	"	わくわくフェスタ(リーパスプラザ)		
	"	古賀市民文化祭(リーパスプラザ)		
	平成28年1月	第26回九州小学校管楽器演奏会(春日市民センター)		
	平成28年2月	第17回九州学生チューデントジャズフェスティバル(西市民センター)		
	平成28年3月	第13回定期コンサート(千鳥苑)		
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生が音楽に親しめる環境を提供することができており、豊かな情操を育むことができています。 ・市のイベント等に参加することにより、イベントに彩りを添えることができ、イベントを盛り上げる一助となっている。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・部員の確保が困難である。現在は、小学生だけのバンドであるが、今後は、中学生を対象とすることも検討している。 ・指導者が1名のため、練習回数が確保しにくい。 			
H27年度予算額		H27年度決算額		
559,000円		193,416円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8	報償費	指導員謝礼	70000	
11	需用費	消耗品費	71000	
"	"	印刷製本費	60000	
"	"	物品等修繕料	150000	
14	使用料及び貸借料	車借上料	168000	
"	"	会場借上料	40000	
合計			559,000	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期			

平成27年度文化芸術事業報告書(ねんりんスポーツ・文化祭)

目的	・福岡県在住の高齢者の文化・スポーツの活性化を図る			
日時	各事業	会場	各会場	
来場者		参加者	65歳以上の高齢者	
担当課	介護支援課	担当係	介護予防係	
内容	県と連携しながら、ゲートボール、グランドゴルフ等のスポーツ競技や囲碁、将棋、美術展等の文化イベントへの参加を促し、表彰を行う。			
成果	・ねんりんピックの情報を老人クラブや各関係団体に周知を行った。			
課題	・スポーツに関しては、対象事業募集に毎年参加する団体があり、県と連携しながら賞状や記念品わたしなどを行っているが、最近では文化活動は、情報提供が主な活動である。			
H27年度予算額		H27年度決算額		
0		0		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
合計			0	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期			

平成27年度文化芸術事業報告書(介護・生きがい活動支援センター(ゆい)管理運営事業)

目的	・「元気なひとづくり」の一環として、介護予防の視点から、①介護予防・生きがい支援型デイサービス②元気高齢者の健康保持及び仲間づくり③家族支援としてのショートステイの事業を、市民と共働により活動することで、生きがいや助け合い活動の在り方を学び、地域活動へと結ぶ。		
日時	介護予防デイサービス (月・水・金10時～15時)	会場	いきいきセンターゆい
来場者		参加者	60歳以上の高齢者 利用者数3,520人
担当課	介護支援課	担当係	介護予防係

内容	【ディプログラム】 ・食づくり(月・水・金の昼食をサポート者が作り、参加者全員で交流しながら会食を行う) ・パソコン教室 ・ハンドベル ・筆ペンで遊ぼう ・パステルアート ・季節の絵手紙 ・木目込みアート ・手芸・ビーズ ・歴史講話 ・ハーモニカ・鍵盤ハーモニカ ・コーラス ・太極拳・気功 ・畑づくり ・世代間交流 ・男の料理教室		
----	---	--	--

成果	・介護予防を目的とした鍵盤ハーモニカの活動が開始し、地域活動につながった。 ・各活動の中から、自分に合った活動を楽しく行い、生きがいを見つけることにより介護予防を図った。 ・ゆいの活動で身に付けたものを、施設等で発表を行い、喜ばれている。 ・ハンドベルは古賀市童謡祭で発表。 ・次世代交流においては、ほずみ保育所や福岡女学院との交流を行い、高齢者の知恵や技能を次世代に伝えることができた。		
----	--	--	--

課題	・平成28年度より介護保険の総合事業をスタートさせるにあたり、今後はいきいきセンターゆいでの活動は、地域展開の介護予防の拠点となる。それに向けて、スタッフの整備や事業の見直しを行い、「地域介護予防活動のコーディネート」「人材育成」「社会資源の見える化」「地域支え合いネットワークの構築」を行っていく。		
----	--	--	--

H27年予算額		H27年度決算額	
6,577,000円		5,988,716円	

予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
7	賃金	臨時雇	2,773,000	コーディネーター
8	報償費	サポーター謝礼等	459,000	サポーター謝礼(ゆい券)
9	旅費	費用弁償	80,000	運営委員会費用弁償
11	需用費	消耗品等	2,979,000	燃料費・電気代・その他
12	役務費	通信費等	246,000	通信費・クリーニング
14	使用料等	テレビ受信料等	40,000	
合計			6,577,000	

備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期			
----	--	--	--	--

平成27年度文化芸術事業報告書(介護予防支援センター(りん)管理運営事業)

目的	・高齢者に対し、生きがい活動等の介護予防支援事業を実施し、高齢者等の健康の保持増進及び向上を図る。			
日時	月・木・金曜日(10時～15時) 火・水曜日不定期	会場	ふれあいセンターりん	
来場者		参加者	65歳以上の高齢者 延3,840人	
担当課	介護支援課	担当係	介護予防係	
内容	「ふれあいセンターりん」では古賀市にお住いの、概ね60歳以上の方を中心に、ものづくりや生きがいづくり、仲間づくりを行っている。 H27年度は、脳の健康教室を実施・火曜日も開館し活動を広げる			
	(生きがい活動) ・木工(毎週木曜日) ・革細工(毎週月曜日・金曜日) ・紙バンド教室(月1回) ・ウクレレ教室(月2回) ・折り紙教室(月1回) ・布草履づくり(月2回) ・コーラス(月1回) ・絵画(月1回) ・押し花(月1回) ・ヨガ・太極拳・フラダンス ・その他(次世代交流活動 等)			
成果	・平成27年度の成果は、りんの生きがい活動において作成した、木工製品・革細工・手芸品等を香椎のイオンにおいて販売を行い、年間40万円を売ることができ、作成者の意欲と自信につながった。 ・活動拡大をめざし、今まで閉館していた火曜日を開館し、脳の健康教室・ヨガ・フラダンス等の活動を行った。			
課題	・ものづくりを中心の活動で、商品として販売をして多くの人に喜んでいただいたが、他の文化活動に参加している高齢者の方々が、りんだけの活動に終わっていることが多い。今後は、りんでの活動が、地域公民館などの活動へ広がることを期待したい。			
H27年予算額		H27年度決算額		
8,303,000円		7,715,773円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
11	需用費	施設修繕	586,000	
	役務費	建物総合損害共済	16,000	
13	委託料	指定管理料	7,701,000	
合計			8,303,000	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期			

平成27年度文化芸術事業報告書(介護予防・生きがいづくり支援(しゃんしゃん)事業)

目的	・65歳以上の高齢者に対し、生きがい活動としての各種サービスを提供することにより、社会的孤立感の解消、自立生活の助長及び要介護状態への進行を予防する。			
日時	火曜日～土曜日 (10時～15時)	会場	社会福祉センター 千鳥苑 しゃんしゃん	
来場者		参加者	65歳以上の高齢者 3,038人	
担当課	介護支援課	担当係	介護予防係	
内容	<p>【主な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら日常生活を意識した運動 ・生活に密着した内容の講座開催 ・食べることを楽しみに、栄養のバランスが取れた食づくり ・昔好きだったこと、チャレンジしたいこと等、個性を大事にした趣味活動 <p>【活動内容例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事 ・各健康教室(口腔衛生・認知症予防・食事に関する教室 等) ・体操に関する教室(体操レクリエーション・いきいき体操・ヨガ等) ・手芸活動・芸術活動 ・園芸活動 ・世代間交流 			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・しゃんしゃんで行う様々な活動を通し、高齢者が生きがいを持ち楽しく取り組むことにより、心身を健康に保ち、介護予防が図れた。 ・創作活動において、できた作品を千鳥苑のロビーに展示し、認め合うことで、自尊感情を高め合うことができた。 ・花見東1区の福祉会に「ビーズのアクセサリーづくり」の出前講座を行った。 ・児童センター「コスモックス」や古賀北中学校との交流会を行った。 			
課題	・しゃんしゃんの参加者は、ほとんどが後期高齢者(75歳以上)であり、地域等への活動の展開がなかなかできない。			
H27年予算額		H27年度決算額		
6,798,000円		6,798,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
13委託料	6	21	6,798,000	しゃんしゃん指定管理料
合計			6,798,000	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期			

平成27年度文化芸術事業報告書(高齢者生きがいづくり支援センター(えんがわくらぶ)運営事業)

目的	・高齢者の生きがいづくり、介護予防、レクリエーション及び世代間交流並びに地域支援の向上に資する市民活動を支援を行い、介護予防の推進を図る。			
日時	えんがわ 月曜日～金曜日	会場	古賀東小学校内 旧用務員室	
来場者		参加者	65歳以上の高齢者 延1,200人	
担当課	介護支援課	担当係	介護予防係	
内容	<p>【えんがわくらぶ】 東小学校生徒との交流 1年 年2回(昔遊び・どんぐり工作) 2年 年4回(プチトマト植え・音楽を楽しむ・音楽発表) 3年 年6回(お花を独居の高齢者に届ける・昔遊び・昔の生活を聞く 等) 4年 年1回(ミニ講演 エコ名人になろう) 5年 年2回(昔のおやつづくり) ・教養講座(パソコン・古賀の歴史講座) ・体験講座(バスハイク) ・趣味講座(手芸、絵手紙 等)</p> <p>【カチカチ会】 古賀市の民話を掘り起し、大型の紙芝居を作成し、高齢者施設や地域で演じている。</p>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度より、カチカチ会が「えんがわ」で活動を始め、活動内容が広がった。 ・小学校内にあり、日常的な児童と高齢者の交流活動が行われている。 ・児童と高齢者が様々な活動を行うことにより、あたたかい時間がもてており、お互いの喜びとなっている。 ・活動が評価を受け、中学校の家庭科の教科書に掲載される。 ・様々な講座によって、生きがいづくりとなり、参加者の健康増進・脳トレによる認知症予防となっている。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・民家なので、部屋が狭く多くの方を受け入れることができない。 ・まだ、利用していない日もあるので、東小学校の交流においても教育効果の高い団体に活動を推進したい。 			
H27年予算額		H27年度決算額		
1,171,000円		542,174円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
11	需用費	燃料費等	109,000	高齢者生きがいづくり支援事業委託
12	役務費	通信運搬	110,000	
15	工事請負	施設維持	296,000	室内補修(老朽化)
18	備品購入	施設備品	156,000	エアコンコインタイマー
	補助金		500,000	えんがわくらぶ活動補助
合計			1,171,000	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期			

平成27年度文化芸術事業報告書(乳幼児親子相談事業)

目的	・同年齢の子どもを持つ親同士の交流や情報交換などをして、子育てに関する不安や悩みを軽減する。			
日時	月1回(7ヶ月っこ広場) 10:00～10:30(骨密度測定) 10:30～12:00 月1回(1歳誕生広場) 10:00～(受付) 10:30～12:00	会場	サンコスモ古賀 すこやかホール	
来場者		参加者		
担当課	子育て支援課(主管) 予防健診課	担当係	家庭支援係	
内容	<p>7ヶ月児とその保護者と1歳児とその保護者を対象に、下記のとおり実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わらべうた、手あそび、読み聞かせ等の親子遊び(7ヶ月っこ広場、1歳誕生広場) ・7ヶ月児の生活リズム習得の啓発、身体測定、親同士の交流 ・誕生カード作り、誕生会(1歳誕生広場) ・1歳児の生活リズム習得への啓発、身体測定 			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児健診(4カ月、10カ月健診)期間の間に開催しているため、その間の相談できる場となっている。 ・離乳食教室以外にも保健師、管理栄養士に子育て、離乳食についての相談できる機会になっている。 ・同じ月齢の子どもを持つ保護者が参加されることで、親同士悩みや、情報交換ができ、友達づくりのきっかけの1つとなっている。 ・市の相談窓口を紹介できるとともに、次に続く事業として1歳誕生広場の紹介をできている。 			
課題	・職場復帰、保育所入所等の理由で参加者が年々減少している。			
H27年度予算額			H27年度決算額	
10,000円			9,941円	
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
11需用費	1消耗品費	1消耗品費	10,000	消耗品費
合計			10,000	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期			

平成27年度文化芸術事業報告書(乳幼児親子居場所提供事業)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の親子が気軽に利用し、交流を通じて情報交換や仲間づくりの場を提供する。 ・育児相談等を実施し育児負担の軽減や支援機能の充実を図り子育て支援を行う。 			
日時	月曜日～金曜日 9:00～16:00	会場	サンコスモ古賀内 つどいの広場「でんでんむし」	
来場者		参加者		
担当課	子育て支援課	担当係	平山	
内容	<p>0歳～就学前までの子育て中の親子を対象に、下記のとおり実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びの場の提供 ・親同士の交流の場の提供 ・スポットタイムとして、わらべ歌、親子あそび、造形活動、ふれ合いあそび、指先あそび、音楽あそび、絵本読み聞かせなど提供 ・子育て情報の提供として、でんでんむしだより、遊びの紹介、地域の子育て支援事業等 			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・0歳未満の乳児をもつ母親の利用が増え、情報交換やママ友作りの場となっている。 ・保護者同士の交流の中で育児不安や子育て不安が軽減されている。 ・祖父母、父親の参加も増えてきた。 ・赤ちゃん訪問や広報誌、ホームページ、くちこみ等で市内のみならず市外の親子の利用も増えてきた。 ・家庭支援係(全戸訪問、発達ルーム、家見相)、予防健診課等との連携をもつことで、養育支援家庭や気になる親子の見守りが手厚くなっている。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の夏休み、冬休み期間中は園児達の利用が多く、でんでんの室内が手狭になる。2歳児以降は動きが活発で走り回ることも多いため、寝返りやハイハイ、歩き始めの0,1歳児の乳幼児にとっては危なくゆっくり過ごせない。今後赤ちゃんコーナーの拡充や環境整備を考えていく。 ・でんでんを利用される親子にとってそれぞれが心地よい場所になるよう環境を見直していく。(遊びの提供の仕方、関わり方等) 			
H27年度予算額		H27年度予算決算額		
2,304,000円		2,239,471円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
7賃金	2臨時雇		1,739,000	
8報償費	1報償費	1報償費	54,000	
9旅費	2普通旅費		4,000	
11需用費	1消耗品費	1消耗品費	300,000	
18備品購入費	1備品購入費	1備品購入費	207,000	
合計			2,304,000	
備考	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期			

平成27年度文化芸術事業報告書(乳幼児絵本との出会い促進事業)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児と保護者が絵本を介して向かい合い、「暖かくて楽しいことばのひと時」を持つことを支援する。 ・子育て中の親子の居場所や子育てに関する相談・情報提供を行い、育児不安や子育て負担の軽減を図る。 ・基本的生活習慣の習得。 			
日時	月1回 10:30受付 11:00~12:00	会場	サンコスモ古賀 すこやかホール	
来場者			参加者	
担当課	子育て支援課	担当係	家庭支援係	
内容	<p>4か月児とその保護者を対象に、下記のとおり実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わらべうた、ふれあいあそび ・絵本の読み聞かせ ・ブックスタートの趣旨、配布物の説明 ・図書館からの説明(図書カード・ねえよんで他) ・基本的生活習慣の習得に関する啓発 ・子どもとメディアとの関係づくりのグループワーク ・絵本の引換 ・育児相談 			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて絵本と出会う方もいて、読み聞かせの楽しさを知ってもらえている。また、絵本の選び方の参考になっている。 ・つどいの広場「でんでんむし」利用や他の子育て支援施設の利用への広がりやきっかけになったり、ママ友ができる機会にもなっている。 ・育児相談の経験がその後の相談利用の後押しになっている。 ・職員にとって乳児全戸訪問で出会った児との再会の場となっており、育児の現況確認や保護者には育児相談の機会になっている。 ・事業に不参加で再訪問が必要な家庭への訪問をする際に、絵本を持参することは訪問のきっかけにもなっている。 ・赤ちゃんの成長を、身体と心の発達やコミュニケーションの深まりの面などから考えてもらえるようになった。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・古賀市の広報や行事予定表や乳児全戸訪問にてPRしているが、引き換え率が70%程度である。 ・交通手段が無いため参加が困難な方がいる。 			
H27年度予算額			H27年度決算額	
209,000円			205,016円	
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
13委託料	5その他委託費	51	68,000	メディア啓発事業委託
11需用費	1消耗品費	1消耗品費	141,000	絵本代
合計			209,000	
備考	<p style="text-align: center;">古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期</p> <p style="text-align: center;">— ざわめきづくり — 行政がおこす — 長期</p>			

平成27年度文化芸術事業報告書(レッツトライ！プロジェクト)

目的	・文化振興を担う人材の支援として、既存の団体の活性化と新しい団体の創生を支援する。 ・古賀市において活動する団体の交流を行い、お互いに認め合い、高めあえるよう、団体間のネットワークを広げる。			
日時	第1回 9月13日(日) 10時～17時 第2回 9月25日(金) 19時～21時 第3回 10月16日(金) 19時～21時	会場	下記のとおり	
来場者		参加者	第1回7人、第2回9人、第3回10人	
担当課	文化課(H27 生涯学習推進課)	担当係	文化振興係(H27 文化・スポーツ支援係)	
内容	内容 講師大澤寅雄氏とコーディネーター坂崎隆一氏に協力いただき、古賀市が抱える課題や、古賀市が誇る魅力をもとに、文化芸術を通して人やまちを盛り上げることが出来る事業を考え、具体化し、企画書の作成まで行った。 講師 大澤 寅雄 氏 (ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室) コーディネーター 坂崎 隆一 氏(坂崎隆一型事務所代表)			
	9月13日(日)	①リーパスプラザ 集合・出発 ②借楽荘(施設案内) ③鬼王荘(施設案内&昼食&対談) ④船原古墳(説明&案内) ⑤勤労者研修センター(説明&対談) ⑥コスモス館(説明&対談) ⑦リーパスプラザ まとめ・解散	バスツアー形式で古賀市の名所を回り、借楽荘、鬼王荘ではご主人、女将さんに薬王寺についてお話を伺い、勤労者研修センターでは観光協会局長に古賀市の商工観光についてお話を伺い、コスモス館では古賀の名産についてお話を伺い、古賀市を盛り上げるためには今何が必要なのか、それを文化芸術の力でどのように支援していくことが出来るのかを模索した。	
	9月25日(金)	①研修棟202 集合 ②前回の感想・企画の構想 ③資料説明 ④企画の具現化(付箋書き) ⑤企画へのアドバイス ⑥まとめ	第1回で調べたり、感じたりしたことを発表してもらい、それぞれが思い描いた企画を具体化したところ、9つの企画が挙がった。	
	10月16日(金)	①研修棟202 集合 ②マンツーマン企画アドバイス ③企画書プレゼン ④講師・コーディネーターより講評 ⑤まとめ	挙がった企画を企画書にまとめて発表 ①写真展 ②船原古墳の謎解き ③家族でスケッチ 薬王寺編 ④サロンコンサート in 鬼王荘 ⑤羊と一緒に里山体験 in 薬王寺	
成果	・企画として挙がったうち、3つの企画が実際に来年度以降に実施予定となった。 ・本講座を通して団体同士がつながり、別の機会に合同で事業を実施したり、交流をしていた。 ・実際の現場で話を聞くことで、リアルな現状がわかり、非常に勉強になった。			
課題	・回数が少ないため、企画書の具体化がしっかりと出来なかった。 ・実際に団体が事業を実施する際、市の予算をつけておらず、動き出しがしにくい。 ・企業を巻き込む際は、企業側に利益がないと難しい。 ・文化芸術で商工観光を支援すること、現場のニーズだけでなく団体のやりたいことを盛り込むことを考慮して企画をつくらなければならない、非常に難しい。			
H27年度予算額			H27年度決算額	
205,592円			163,482円	
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
8報償費	1報償費	32コーディネーター謝礼	12,500	コーディネーター謝礼 2,500×5回
8報償費	2講師謝礼	1講師謝礼	150,000	講師謝礼 30,000×5回
11需用費	4印刷製本費	1印刷製本費	43,092	印刷製本費 43,092円
合計			205,592	
備考	環境づくり ― 行政がおこす ― 長期			

平成27年度文化芸術事業報告書(文化芸術振興計画管理事務)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術振興計画を様々な機会に啓発を行い、文化芸術に関する意識啓発を行う。 ・古賀市文化芸術振興条例に基づき、文化芸術審議会を設置し、古賀市文化芸術振興計画の進捗管理を行い、古賀市の文化芸術振興を図る。 		
日時	下記のとおり	会場	下記のとおり
来場者		参加者	第1回 9人、第2回 9人、第3回 9人
担当課	文化課(H27 生涯学習推進課)	担当係	文化振興係(H27 文化・スポーツ支援係)
内容	5月26日(火) 10時 ～12時	第1回古賀市 文化芸術審議会	①開会の言葉
			②市長あいさつ
			③教育長あいさつ
	10月28日(火) 9時30分 ～11時30分	第2回古賀市 文化芸術審議会	④会長あいさつ
			⑤報告
			・平成27年度文化芸術関連事業の実施計画について
			・市内小中学校における文化芸術事業調査について
			⑥協議
			・文化芸術作品寄贈に関する内規について
3月3日(火) 10時 ～11時30分	第3回古賀市 文化芸術審議会	⑦その他事項	
		・えがおにつどいについて	
		⑧開会の言葉	
		①開会の言葉	
		②会長あいさつ	
		③報告	
		・平成26年度文化芸術関連事業の実施報告まとめについて	
		④協議	
		・平成28年度文化芸術関連事業の企画書について	
・文化芸術作品寄贈に関する内規について			
成果		第3回古賀市 文化芸術審議会	⑤その他事項
			・赤星信子氏の福岡県文化功労者表彰受賞のお知らせ
			⑥閉会の言葉
			①開会の言葉
			②市長あいさつ
			③教育長あいさつ
			④会長あいさつ
			⑤報告
			・古賀市美術作品の寄附・寄贈に係る事務取扱基準に関する要綱
・文化芸術審議会委員の市民公募について			
課題		第3回古賀市 文化芸術審議会	⑥協議
			・コーディネーター育成の方法について
			⑦その他事項
			・マイナンバー制度に係るマイナンバー届出の提出について
			⑧閉会の言葉
			・かねてからの懸案事項であった寄附、寄贈に関しての要綱を定めることが出来た。
			・アクションプランに掲載している項目のうち、まだ実施できていない部分について、どのように振興していくべきか、協議、検討が必要。
			・寄附、寄贈に関しては、細則等を定めるべき等ご意見をいただいたので、今後更なる検討が必要。
			H27年度予算額
395,600円		285,720円	
予算根拠			
節	細節	細々節	根拠
1報酬	2委員報酬	41文化芸術 審議会委員 9人	文化芸術審議会委員 7,500円×4回×9人
9旅費	1費用弁償		文化芸術審議会委員 2,500円×4回×9人
12役務費	1通信運搬費	1通信運搬費	文化芸術審議会案内 140円×10人×4回
合計		365,600	
備考	環境づくり — 行政がおこす — 長期		

平成27年度文化芸術事業報告書(自然史・歴史講座)

目的	市民が自然、歴史について学ぶ機会を提供する。		
日時	下記のとおり	会場	下記のとおり
来場者		参加者	下記のとおり
担当課	文化課(H27 サンプルアこが)	担当係	文化振興係(H27 歴史資料館係)
内容	<p>第1回 現地学習『古賀の歴史探訪 小野の里めぐり』 5月29日(金) 〔古賀市〕船原古墳(車中から)・小山田斎宮・飯尾理入の墓・白髭神社・東前寺・河内池ほか 参加者 20人</p> <p>第2回 講演『船原古墳の科学調査最前線』 6月7日(日) 〔古賀市役所 501～503会議室〕 講師:加藤 和歳 氏(九州歴史資料館 文化財調査室) 参加者 76人</p> <p>第3回 『むかあしむかし あったとさ～民話にでてくる民具たち～』《企画展関連事業》8月2日(日) 講師:土屋 富子 氏(土屋ミニ子ども図書館「とんからりん文庫」主宰) 参加者 30人</p> <p>第4回 現地学習『夏休み史跡探検隊 子どもカメラマンが行く』 対象:小学5・6年生 8月20日(木) 〔古賀市〕みあけ史跡公園・青柳宿・天降神社 参加者:7人</p> <p>第5回 現地学習 『長崎街道の宿場を訪ねて～黒崎宿から木屋瀬宿まで～』 10月3日(土) 〔北九州市〕曲里の松並木・立場茶屋銀杏屋・長崎街道木屋瀬宿・木屋瀬宿記念館ほか 参加者 30人</p> <p>第6回 現地学習 『甦る伊都国歴史浪漫 ～伊都国歴史博物館と糸島の史跡めぐり～』 11月29日(日) 〔糸島市〕櫻井神社・平原歴史公園・伊都国歴史博物館 参加者 37人</p>		
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・現地学習では、古賀市内をはじめ、郷土の歴史に直接触れることにより、理解を深めることができた。 ・第2回講座の講演会では、船原古墳から発見された遺物の調査とその重要性についての理解を深め、船原古墳に関する関心を高めることができた。 ・第3回講座の講演会では、昔話や伝説のおもしろさや、民具に込められた先人達の知恵などを、大人から子どもまで楽しく学んでもらうことができた。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる歴史伝承活動の推進のため、広く周知を行う必要がある。 ・現地学習の参加希望者は多いが、実施の回数・形態の拡張は困難。 		
H27年度予算額		H27年決算額	
105,000円		40,714円	
予算根拠			
節	細節	細々節	根拠
8報償費	01報償費	01スタッフ謝礼	5,000 第1回・第4回講座史跡案内スタッフ謝礼2,500円×1人×2回
		02託児謝礼	11,000 第2回・第3回講座託児謝礼900円×3時間×2人×2回
	02講師謝礼	01講師謝礼	40,000 第2回・第3回講座講師謝礼10,000円×2時間×1人×2回
9旅費	02普通旅費	02普通旅費	3,000 職員出張旅費
11需用費	01消耗品費	01消耗品費	27,000
14使用料及び賃借料	01使用料	01施設使用料	5,000 第5回講座下見・当日(入館料)240円×2人×2回 第6回講座下見・当日(入館料)100円×2人×2回 次年度見学地下見(入館料)950円×3人
	05 駐車場・有料道路使用料	05 駐車場・有料道路使用料	14,000 第5回講座下見・当日(高速道路使用料)860円×3台 第6回講座下見・当日(高速道路使用料)1,960円×3台 次年度見学地下見(高速道路使用料)3,940円×1台 次年度見学地下見(駐車場代)500円×1台×2箇所
合計			105,000
備考	環境づくり — 行政がおこす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期		

平成27年度文化芸術事業報告書(市民音楽祭)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 古賀市の文化芸術振興に寄与し、クオリティ・公益性の高い企画・運営を行う団体を支援する。 市民とプロが交流する機会を設け、文化芸術活動の活性化を図る。 			
日時	平成27年11月8日(日)	会場	リーパスプラザ 大ホール	
来場者	560人(内招待55人、関係者40人)	参加者		
担当課	文化課(H27 生涯学習推進課)	担当係	文化振興係(H27 文化・スポーツ支援係) (主催:NPO法人古賀市文化協会)	
内容	<p>【市民音楽祭】 内容 市民が一流の音楽にふれる機会をふやすことを目的とし、手軽な料金でプロの演奏を鑑賞できる。さらに、古賀市民であればもっと安くなるお得なコンサート。</p> <p>出演者 第1部(市民の部):ねじめの会(民謡)、茂寿の会(日本舞踊) 第2部(メインゲスト):北山 たけし 氏</p> <p>前売り (市外):3,500円<<42人>> (市内)2,500円<<329人>> (市内割引)1,000円<<122人>> 当日 (市外):4,000円<< 8人>> (市内)3,500円<< 2人>> ※身障者・高校生のみ500引き</p>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果から評価が大変高かったことが伺える。 市民の部では、小学生を含め若い世代が出演し、有料のステージで演技披露するという貴重な機会であるとともに、若い世代の演技を通して、伝統芸能への親しみを持ってもらうことが出来た。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> 来場者の90%が60歳以上であり、77%が女性であるので、今後は60歳以下の世代や男性にもアプローチが必要。 			
H27年度予算額			H27年度決算額	
1,500,000円			1,500,000円	
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
19負担金補助及び交付金	4補助金	1文化芸術事業補助	1,500,000	文化芸術振興事業補助(市民音楽祭) 1,500,000円
合計			1,500,000	
備考	誇りをおこす — 行政がおこす 誇りをおこす — 団体がおこす			

平成27年度文化芸術事業報告書(公募型補助金:定期演奏会)

目的	・幼い子どもからお年寄りまで出来るだけ多くの市民の方や、日頃生のオーケストラ演奏になじみのない方に低料金で古典の名曲に接していただき心の安らぎと感激を提供したい。		
日時	平成27年6月13日(土) 15時～開演	会場	リーパスプラザ 大ホール
来場者	208人	参加者	
担当課	文化課(H27 生涯学習推進課)	担当係	文化振興係(H27 文化・スポーツ支援係) (主催:古賀市民オーケストラ)

内容	<p>【定期演奏会】</p> <p>演奏曲目 ポロディン作「中央アジアの草原にて」、メンデルスゾーン作「バイオリン協奏曲」 チャイコフスキー作「交響曲第5番」</p> <p>入 場 料 前売り:1,000円 当日:1,200円 高校生以下無料</p>		
----	---	--	--

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・来場者、売上ともに増加した。 ・一般会員の新規申込が11件あり、62人と徐々に増加しつつある。しかし、一般会員は、事業案内を送付するのが主で、会費もないため、直接的な収入にはならない。 		
----	--	--	--

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・介護施設等からの来場者は今年も0人であった。前年は案内が遅かったの、前年度より早めに案内したが、結果が出なかった。案内状の配布をお願いした社会福祉協議会担当者とも問題点を検討したい。 ・行政区、医療施設等の慰問演奏会で案内しているが、演歌や唱歌等とは違い馴染みがないようで反応があまりよくないため、今後は易しく説明案内したい。 ・一部の演奏のクオリティについて、来場者に不満を与える演奏だった。 		
----	--	--	--

H27年度予算額	H27年度決算額
473,000円	473,000円

予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
19負担金、補助及び交付金	4補助金	41公募型補助金	473,000	報償費(指揮者、ソリスト、客演等) 使用料(大ホール、研修棟等) 消耗品費(インク、コピー用紙等) 印刷製本費(ポスター、チラシ等) 委託料(反響版設置) 通信費(切手代、郵送料等)他
合計			473,000	

備考	<p style="text-align: center;">環境づくり — 行政がおこす — 短期 古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 団体がおこす</p>			
----	--	--	--	--

平成27年度文化芸術事業報告書(公募型補助金:古賀市「第九」演奏会)

目的	・クラシック音楽の素晴らしさに触れ、自ら参加、体験(歌う、演奏)をすることで、一体感を持てることや、古賀市の豊かな文化芸術の幅広さを市内外にアピールする。			
日時	12月19日(土) 15時～	会場	リーパスプラザ 大ホール	
来場者	約600名	参加者	合唱・オーケストラ他 120名	
担当課	文化課(H27 生涯学習推進課)	担当係	文化振興係(H27 文化・スポーツ支援係) (主催:古賀市「第九」実行委員会)	
内容	<p>【第九演奏会】 12月19日(土) 14時30分 開場 15時 開演 曲目:第1部オペラ男声合唱集 「巡礼の合唱、水夫の合唱、闘牛士の歌、行け!我が想いよ!黄金の翼に乗って」 第2部ベートーベン作曲「交響曲第九番ニ短調op.125 合唱付」 指揮: 瀬原 浩司 ソプラノ: 鶴田 智子 氏 アルト: 愛甲 久美 氏 テノール: 澤田 薫 氏 パス: 大野 隆 氏 合唱: 古賀市「第九」合唱団 演奏: 古賀市民オーケストラ</p>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・レベルの高いソリストを招いたことで、会全体のクオリティの上昇につながった。 ・観客からの評価は高く、新潟や京都など遠方からの来場者も数名いる。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会形式のため、事務局の入れ替わりが激しく、運営体制が安定しない。 ・合唱団を公募しているが、なかなか集まらない。 ・マンネリ化してきている。 ・来場者が昨年度を下回り、合唱者、演奏者も不足している。 			
H27年度予算額		H27年度決算額		
409,000円		409,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
19負担金、補助及び交付金	4補助金	41公募型補助金	409,000	報償費(合唱指導、ソリスト 等) 旅費(合唱指導、ソリスト 等) 使用料(大ホール、研修棟 等) 消耗品費(インク、コピー用紙 等) 印刷製本費(ポスター、チラシ 等) 委託料(反響版設置) 通信費(切手代、郵送料 等) 保険料 他
合計			409,000	
備考	環境づくり 古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する 環境づくり			
	— 行政がおこす — 短期 — 団体がおこす — 団体がおこす			

平成27年度文化芸術事業報告書(公募型補助金:夏休みこども体験教室)

目的	・古賀市内の子どもたちに、文化芸術を体験してもらうことで、文化芸術に対する興味・関心を引き出す。				
日時	下記のとおり		会場	リーパスプラザ 大ホール	
来場者			参加者	695人	
担当課	文化課(H27 生涯学習推進課)		担当係	文化振興係(H27 文化・スポーツ支援係) (主催:NPO法人古賀市文化協会)	
内容	日程	教室名	対象	定員	申込数
	【夏休みこども体験教室】夏休み期間に、未就学児～高校生を対象に、様々な文化芸術体験講座を開催する。				
	中止	絵画教室	小学生	30	0
	8月2日(日) 8月8日(土)	ヒップホップダンス教室	小・中学生	40	38
	7月24日(金) 7月31日(金)	スポーツダンス教室	小・中学生	40	26
	7月23日(木) 8月6日(木)	リトミック教室	1～4歳の未就学園児の親子	20	18
	7月23日(木)	詩吟教室	小・中学生	20	1
	7月25日(土) 2回	フラダンス教室①	小学生～高校生	40	15
	7月30日(木) 2回	バレエ教室	4歳～小学3年生	20	27
	7月31日(金) 2回	太鼓教室	小学生～高校生	20	28
	8月1日(土) 2回	フラダンス教室②	小学生～高校生	40	33
	8月8日(土) 2回	ウクレレ教室	小・中学生	30	24
	7月22日(水) 8月5日(水)	ヨーガ教室	小・中学生	30	18
	7月22日(水) 8月5日(水)	民謡教室	小・中学生	40	7
	7月28日(火) 2回	ゆかた教室	小・中学生(小1～3は付添必要)	30	5
	7月24日(火) 2回	茶道教室(150円)	小・中学生	40	20
	7月29日(水) 7月30日(木) 7月31日(金)	パン教室(200円)	小・中学生	60	69
	8月6日(木) 8月7日(金)	料理教室(500円)	小学校高学年～中学生	40	41
	7月22日(水) 7月24日(金)	工作教室	小学生	30	43
	7月29日(水) 2回	ブリザード教室(500円)	小学生	40	22
	7月25日(土) 2回	生け花教室①(500円)	幼稚園児～小学生	30	27
	8月8日(土) 2回	生け花教室②(500円)	小・中学生	21	13
	7月29日(水) 7月30日(木)	絵画教室(150円)	小学生	30	34
	7月29日(水) 7月30日(木)	書道教室①	小学生	40	29
	7月30日(木) 7月31日(金)	書道教室②	幼稚園年長～小学生	30	20
	7月23日(水) 7月30日(水)	押し花教室(300円)	小学生	40	34
		囲碁教室	小学校3年生～中学生(初心者)	40	12
	8月5日(水) 8月6日(木)	将棋教室	小学校3年生～中学生(初心者)	40	40
	7月29日(水) 7月30日(木)	科学教室	小学生	40	40
	8月4日(火) 8月7日(金)	短歌教室	小学生	40	5
成果	・参加者にかなり好評で、先生方から「文化芸術に興味を持ってもらえた」との意見が挙がった。 ・昨年度より講座数を増やしたが、キャンセル待ちが出るほどの反響で、昨年度に比べて250人程参加者が増加した。				
課題	・講座によって申し込み数にばらつきがあり、人気の講座については講座数を増やすなど対策を検討していく。				
H27年度予算額			H27年度決算額		
212,000円			212,000円		
予算根拠					
節	細節	細々節	予算額	根拠	
19負担金、補助及び交付金	4補助金	41公募型補助金	212,000	報償費(講師、アシスタント等) 使用料(研修棟等) 消耗品費(インク、コピー用紙等) 印刷製本費(ポスター、チラシ等) 委託料(看板作成、会場設営等) 通信費(切手代、郵送料等) 他	
合計			212,000		
備考	環境づくり 古賀市の個性を起こす 誇りをおこす		— 行政がおこす — 短期 — 団体がおこす — 団体がおこす		

平成27年度文化芸術事業報告書(公募型補助金:演劇ワークショップ・ミュージカル公演)

目的	・心豊かな人材育成、世代間交流、文化芸術振興を図る			
日時	下記のとおり	会場	ワークショップ リーパスプラザ 研修棟 定期公演 リーパスプラザ 大ホール	
来場者	ミュージカル公演 526人	参加者	演劇ワークショップ 1人	
担当課	文化課(H27 生涯学習推進課)	担当係	文化振興係(H27 文化・スポーツ支援係) (主催:市民劇団DAICOON)	
内容	【演劇ワークショップ・ミュージカル公演】 古賀市内の小学3年生以上から一般成人を対象に舞台芸術の演劇を通して、表現力、創造力、コミュニケーション能力を養うため、演劇ワークショップを行う。また、古賀の歴史、文化、まちづくりを題材にオリジナル脚本、オリジナル曲を作成し、ワークショップ参加者も舞台体験が出来るよう一緒に公演を行う。			
	5月2日(土)~3日(日) 10時~15時	内容 演劇ワークショップ 会場 リーパスプラザ 研修棟 参加費 2,000円 参加者 高校生 1人		
	7月12日(日) 10時~15時	内容 演劇ワークショップ 会場 リーパスプラザ 研修棟 参加費 1,000円 参加者 団員のみ 応募者0人		
	12月26日(土) 午前の部(11時~) 午後の部(15時~)	内容 市民劇団DAICOONミュージカル公演「嵐の夜~私の住むまち~」 会場 リーパスプラザ 大ホール 入場料 前売り:1,200円(子ども500円) 当日:1,500円(子ども700円) 来場者 526人		
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・古賀東小学校でのクラブ活動の指導に入り、参加者に表現活動の楽しさ、コミュニケーション力を伝えることが出来た。 ・子どもたちの成長は素晴らしく、随所に家庭や学校とは異なる表情を見せることができ、保護者の方や学校の先生からも驚きの声が上がっていた。 ・子どもと大人が同じ土俵の上で演技力で勝負し、高めあっていくため、子どもたちの自立を促し、表現力の向上に役立っている。 ・今回は、自然災害や、中学生の不登校問題など、日常生活の中で起こりうることを題材にしたので、より身近に感じられたと思う。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ぎりぎりまで支出を抑えているが、報償費や会場費で費用がかさんでしまう。しかし、現在は自主財源の確保が難しい状況にあり、補助金や助成金で賄っている。 ・団員また、ワークショップの参加者の確保の方法を検討していかなければならない。 ・昨年に比べ、来場者が減少した。 			
H27年度予算額		H26年度決算額		
500,000円		500,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
19負担金、補助及び交付金	4補助金	41公募型補助金	500,000	報償費(脚本、作曲、演出、指導料 等) 使用料(大ホール、研修棟 等) 消耗品費(CD、DVD、コピー用紙 等) 印刷製本費(ポスター、チラシ 等) 委託料(反響版設置、音響、照明 等) 手数料(振り込み手数料 等) 他
合計			500,000	
備考	環境づくり 古賀市の個性を起こす		— 今ある宝を再認識する — 眠った宝を起こす	— 行政がおこす — 短期 — 団体がおこす — 団体がおこす

平成27年度文化芸術事業報告書(公募型補助金:絵画で古賀市を元気にするプロジェクト事業)

目的	・古賀市在住の児童の絵画表現活動の奨励支援を、市民参加で推進するとともに、本事業を通して学校、児童家庭、地域住民間の交流の促進、絆の強化を図り、共働の明るい「元気なまちづくり」に貢献する。			
日時	表彰式:12月12日(土) 展示:12月11日(日)~3月27日(日)	会場	表彰式:リーパスプラザ 大ホール 展示:市内各所	
来場者		参加者	下記のとおり	
担当課	文化課(H27 生涯学習推進課)	担当係	文化振興係(H27 文化・スポーツ支援係) (主催:アートフレンズ25)	
内容	【MOA古賀市児童作品展】市内全小学校に協力を得て、児童の夏休みの作品の募集を行い、入賞者は表彰し、外部協力団体や協賛の企業先に展示する。			
	<p>12月12日(土) リーパスプラザ 大ホール 出展数:721点 メイン展示:12月11日(金)~12月13日(日) 表彰式出席者350名 サブ展示:</p> <p>びはらホームこすもす館ギャラリー 12月20日(日)~ 1月10日(日) 美原園賞 21点 1月17日(日)~ 1月30日(土) アートフレンズ25賞 28点 2月 7日(日)~ 2月21日(日) 古賀市社会福祉協議会賞 21点 2月28日(日)~ 3月 6日(日) 西鉄バス宗像賞 21点 3月13日(日)~ 3月27日(日) 大賞・特別賞・審査員賞 20点</p> <p>リーパスプラザギャラリーかがやき 1月 4日(月)~ 1月31日(火) 大賞・特別賞 7点</p> <p>青柳郵便局 1月12日(火)~ 2月 5日(金) 青柳郵便局賞 16点</p> <p>特別展示:舞の里内科・焼肉マイスターかなちゃんにおいても随時展示</p> <p>ボランティア:35名 協賛企業:30社 個人協賛:46名 後援:6ヶ所</p>			
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童絵画を通して、児童やその家族のみならず世代を超えた市民交流が出来た。 ・高齢者施設の方々や多くの市民がボランティアとして参加くださり、生きがいづくりの一端を担えた。 ・企業、団体、市民と共働で事業を実施することが出来た。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員の脱退や、開催予定の絵画教室の中止等アクシデントのため、出費が当初予定より増加した。アクシデントがあっても、イベントを中止せずに、きちんと実施できるよう対策を事前に検討しておく。 ・昨年に比べ、来場者が減少した。 			
H27年度予算額		H27年度決算額		
331,000円		331,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
19負担金、補助及び交付金	4補助金	41公募型補助金	331,000	報償費(審査員、司会、ボランティア等) 使用料(大ホール、展示会場等) 消耗品費(インク、コピー用紙、額縁等) 印刷製本費(ポスター、チラシ、図録等) 通信費(切手代等) 保険料(ボランティア、来場者等) 他
合計			331,000	
備考	環境づくり 古賀市の個性を起こす 環境づくり		ー 行政がおこす ー 短期 ー 団体がおこす ー 団体がおこす	

平成27年度文化芸術事業報告書(公募型補助金:官兵衛KK版「千里眼薦野増時」宣伝事業)

目的	古代から中性、近世に至る古賀市に培われた歴史文化の発掘、評価、将来への伝承を行うことにより、古賀市が持つ魅力のアピール、人口の定住化等を図る			
日時	下記のとおり	会場	下記のとおり	
来場者	下記のとおり	参加者	下記のとおり	
担当課	文化課(H27 サンフレアこが)	担当係	文化振興係(H27 歴史資料館係) (主催:薦野の歴史をつなぐ会)	
内容	【官兵衛KK版「千里眼薦野増時」宣伝事業】 「薦野歴史マップ」作製、史跡案内看板作製・設置、薦野城址頂上標識の作製・設置、季節に応じたイベントを年3回(下記のとおり)開催			
	<p>・第2回ほたる清流の里・夕涼みの会 日 時:平成27年7月4日 内 容:①生物採集と現地説明(薦野橋上流付近の大根川) ②講演「大根川にすむ魚たちと市民の暮らし」 ③古賀市出前講座「農業集落排水事業のしくみ」 参加者:56人</p> <p>・初秋の里山を歩こう～自然と歴史の森の中へ～ 日 時:平成27年9月13日 内 容:公民館～養徳山～清瀧橋～清瀧生活センター～梅津ヶ谷林道～薦野城山頂～貝地林道～公民館 の完全徒歩(約4km) 参加者:32人</p> <p>・ふるさとの木と森サロン～来年から山の日。今こそ郷土の山を生かそう～ 日 時:平成27年11月21日 内 容:①講演「ふるさとの木と森の歴史とこれから ～森林の資源状況～」 ②森を奏でる…オカリナグループ演奏(6曲)・ギター独奏(3曲)・みんなで歌おう(2曲) 参加者:49人</p> <p>※参加者数には、会員を含む</p>			
成果	<p>・郷土の自然・歴史の継承素材を作製し、周知に寄与した。(「薦野歴史マップ」2,000部作製、史跡案内看板7本(11面)作製・設置、薦野城址頂上標識の作製・設置)</p> <p>・イベント開催による多世代、男女、域内外のふれあい機会の創設</p> <p>・中世から集落を形成する地域特性の歴史解明(戦国武将の薦野増時の尊名を素材とした歴史の学びの継続性に努め、古代山城などまだ謎が多い分野への後年度への継続的な解明につなげる期待が広がった。)</p>			
課題	<p>・野幸山幸小野まつり等の校区コミュニティとの提携</p> <p>・会員の拡充</p> <p>・郷土の歴史学習の内容拡充</p> <p>・自己資金調達についての検討</p>			
H27年度予算額		H27年度決算額		
239,000円		239,000円		
予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
19負担金、補助及び交付金	4補助金	41公募型補助金	239,000	<p>・報償費(講師謝礼)</p> <p>・消耗品費(資料コピー代ほか消耗品)</p> <p>・印刷製本費(「薦野歴史マップ」)</p> <p>・委託料(史跡案内看板作製)ほか</p>
合計			239,000	
備考	<p>環境づくり 古賀市の個性を起こす 環境づくり</p> <p>— 今ある宝を再認識する</p>			<p>— 行政がおこす — 短期</p> <p>— 団体がおこす</p> <p>— 団体がおこす</p>

平成27年度文化芸術事業報告書(公募型補助金:大型紙芝居巡回公演企画)

目的	古賀の民話を保存・伝承し、古賀市の魅力の発見やPRに寄与する。		
日時	下記のとおり	会場	下記のとおり
来場者	下記のとおり	参加者	下記のとおり
担当課	文化課(H27 サンフレアこが)	担当係	文化振興係(H27 歴史資料館係) (主催:古賀紙芝居サークル「カチカチ会」)

内容	<p>【大型紙芝居巡回公演企画】 古賀の民話を取り入れた大型紙芝居製作〔2作品:①薬王寺温泉物語・②千鳥池物語2(龍神の巻)〕並びにその上演11回</p> <p>上演実績〔公募型補助金対象の上演〕</p>						
	回数	実施日	実施対象	場所	上演作品	参加者数	カチカチ会会員の 出向人数
	1	6月18日	高齢者福祉施設	施設内ホール	「薬王寺」ほか	23	4
	2	9月21日	古賀北区	古賀北区公民館	「薬王寺」ほか	50	6
	3	10月30日	花見北区老人会	花見北区公民館	「薬王寺」ほか	25	5
	4	11月26日	高齢者福祉施設	施設内ホール	「薬王寺」ほか	25	6
	5	12月13日	古賀中央区育成会	中央区公民館	「薬王寺」ほか	35	5
	6	12月15日	高齢者福祉施設	施設内ホール	「薬王寺」ほか	15	6
	7	12月24日	高齢者福祉施設	施設内ホール	「薬王寺」ほか	25	6
	8	2月3日	旅館「鬼王荘」	旅館内座敷	「薬王寺」ほか	25	4
	9	2月4日	高齢者福祉施設	施設内ホール	「龍神」ほか	20	7
	10	2月21日	古賀北区公民館	古賀北区公民館	「龍神」ほか	40	6
11	3月12日	社会福祉協議会	東区公民館前広場	「龍神」ほか	50	7	
			合計		333	62	
	<p>※上演作品の略称 ・「薬王寺温泉物語」…略称「薬王寺」 ・「千鳥池物語2(龍神の巻)」…略称「龍神」</p>						

成果	<p>・大型紙芝居2作品〔薬王寺温泉物語・千鳥池物語2(龍神の巻)〕を新たに制作することができた。これにより、バリエーションが増え、今後の活動(公演)の増加が期待できる。</p> <p>・「大型紙芝居」という手法を用いることにより、民話などによる歴史文化の伝承を、子供から高齢者まで誰にでも分かりやすく、幅広い年齢層に受け入れられる形にしているため、ニーズも高く、市内外から好評を得ている。</p> <p>・紙芝居を通じて郷土に伝わる民話等の保存・伝承活動を行うことにより、古賀市の魅力の発見やPRにつながっている。</p>
----	--

課題	・今後の会の運営の安定性と継続・発展を図る上でも、会員の拡充と資金調達について検討が必要。
----	---

H27年度予算額		H27年度決算額	
40,000円		40,000円	

予算根拠				
節	細節	細々節	予算額	根拠
19負担金、補助及び交付金	4補助金	41公募型補助金	40,000	・消耗品費(大型紙芝居2作品制作に係る消耗品類) ・原材料費(大道具・小道具等制作用木材) ・通信運搬費(文書発送郵便代)
合計			40,000	

備考	<p>環境づくり 古賀市の個性を起こす 環境づくり</p> <p>— 今ある宝を再認識する</p> <p>— 行政がおこす — 短期 — 団体がおこす — 団体がおこす</p>
----	--